顧問 大隈重信　會長 島田三郎
同 森村市左衛門　副會長 安部磯雄
3—537

（明治四十四年八月一日第三種郵便物認可）（大正五年二月一日納本）（毎月一回一日發行）

廓清

第六卷　第二號

□廓清瑣言……益富政助
■陸軍と風紀……山田博士
□國威發展の眞因……島田三郎
■婦人十誡……シュライエルマフエル
□數字上より觀たる全國各方面の風教狀態……伊藤江南
■廓清春秋……河合北洲
□立體として人生……三宅博士
■三面評論……愼默生
□空氣の清淨……平沼淑郎
■此熱烈なる少女の聲を聞け……江南生
□戀愛道德と結婚……浮田和民
■最近の廓清運動……白萩生
□阿彌陀如來は馬鹿に非ず……高島米峯
■熱血江淚……加藤冬作
□海外廓清だより……油谷治郎七

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

人はみめより心にて
ライオン齒磨も
外見の美より內容の
完全を期したれば
口腔衛生を托するには
萬全の齒磨なり

一番品質の純良な齒磨
一番分子の細微な齒磨
一番衛生的有効な齒磨
一番使心地の好い齒磨
一番實用向經濟の齒磨
一番信用評判なる齒磨

廓清
THE PURITY.
第六巻第二號
大正五年二月

廓清瑣言

姦淫の婦を愛する宗教

エホバ曰ひ玉ふ『汝再び往きてエホバに愛せらるれども、轉りて外の諸々の神に向ふイスラエルの子孫の如く、其の連れ添ふ者に愛せらるれども姦淫を行なふ婦人を愛せよ』(何西阿三〇一）吾人の宗教は其夫に愛せられながらも尚姦通を行ふ婦人を愛する宗教なり。吾徒を以て醜業婦を地獄の子として取扱ふパリサイの徒と同視するは大なる間違也。

たゞそれ愛の鞭のみ

人或は吾人を以て弱者（賤業婦）を虐ぐる者となすものあり、何ぞ誤まれるの甚だしきや。吾等が平素努めつゝある所は彼等の保護にして虐待にあらず。其表面虐むるが如く見ゆるも、そは只兩親が愛の兒のために愛の鞭を加ふるの意味に外ならず。打たる兒より打つ親の掌こそ痛けれ。ア、可憐の兒よ、汝等其母の愛を知らずや。

愛する者却つて敵人也

藝娼妓を愛する者、藝娼妓を買ふ者、藝娼妓を必要とする者、是實に彼等の敵人なり。彼等を惡むもの、彼等を虐むる者、彼等を地獄の子となすもの、彼等の靈を滅ぼすものなり。藝娼妓に近づかざる者、彼等の不必要を唱ふる者、愛せざるが如く見ゆる廓清會の徒こそ實は彼等の救主なれ。彼等之を知るや否や。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

危險信號

鐵道に危險信號あり。危險信號は既に轉覆せる汽車を如何ともする能はず、轉覆する汽車を救ふ能はざる故を以て、危險信號無用なりといふものあらば、是れ事理を解せざる事甚だしきものなり。汽車をして安全に通過せしむる上に於て信號より尊きはなきに非ずや。廓清運動は危險信號なり。既に人生の行路に轉覆せる放蕩息子、道樂親爺を如何ともする能はず。然かも之によりて後より來る青年子弟(てふ汽車)は其危險を知り、轉覆を未然に防ぐ事を得。廓清運動の功はそれだけにて、實に澤山也。

信號の價値

信險信號の役目は其所謂危險なるを知らしむるにあり。知つて而して尚其危險を冒す愚かなる運轉士あるを見て、危險信號の價値を疑ふ勿れ。之を鐵道の場合に見るに、假令へばそれが事實信號の不完全なりし場合にも尚且運轉士の罪となすこと數々。廓清運動に於ては、罪運轉士の場合ありとするも尚信號の過失に歸す。人間は勝手なものなり。

要するに吾人の運動は既に藝娼妓てふ岩石に當りて轉覆せる個人及び社會を救ふこと能はず、とするも、今後生長せんとする青年子弟に對し、將又次代の社會に對しては其危險なるを指示するの力あり、信號無視は之れあらん、而かも忠實に之を凝視し、安全に歩むものあり。乞ふ吾が愛する同人よ、士氣沮喪する勿れ。

放蕩の罪

放蕩者あり大威張りに威張りて曰く、余は只余の錢で遊ぶのみ、毫も人に迷惑を懸けずと、大威張りなり。彼等は人の金を盗んで若しくは人に迷惑をかけて、放蕩するものゝみ罪ありといふ。然りそれも罪惡也、但しそは盗としての罪惡なり、放蕩の罪は放蕩其自身にあり。

罪を犯して何人をも害せずといふは大なる誤りなり。罪は必ず何人かに害を與ふ。之れ罪の罪たる所以。嘗て徳富蘆花氏と煙草に就て論せし事ありき。余曰く何故に先生は煙草をのみ玉はざる、氏曰く「六七才の小兒シガーを口にし居る態を見て貴君は何と見らるゝ」余曰く「それは無論不體裁なり」氏曰く「然らば煙草を喫むは罪惡にあらずや。何となれば他に不善の模範を示せばなり」放蕩の模範を他に示し乍ら、我は罪を犯さずといふ、蓋し人を欺く也。

青年に告ぐ

諸君は世界歴史を讀んで其何處に興味を有せらるゝや。恐らくは事件の變化乃至發展或は盛へ或は衰へ或は生き或は死し或は起り或は亡びる處に多大の興味を感せらるべし。敢て問ふ諸君自身の歴史は如何、諸君は現代史の一部なると同時に、諸君即ち諸君の歴史なり。幸にして諸君てふ歴史は僅かに第一章若くは第二章を綴られたのみ。之より如何なる結論を以て、己が歴史の最後の頁を記さんとはするぞ。『自己』てふ歴史の著者たる諸君に敢て之の質問を發せん。(益富生)

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

國威發展の眞原因を尋ねて敢て大正國民の覺醒を促す

廓清會々長
衆議院議長　島田三郎

□二大思潮の對立

日本は僅に開國五十年にして、殆んど奇蹟的の發展を遂げ北は樺太南は臺灣西は朝鮮より滿洲の一角を併せ、領土の擴張と共に、文運は一躍して列强と比肩するに足るに至つた。之を國民互に割據して領分を競ふに日も之れ足らない、所謂蝸牛角上の爭鬪に沒頭してゐた封建時代に比べると、眞に隔世の感なきを得ぬ。而もそれが僅に五十年にしか過ぎないのであるから、驚歎すべき事實であるが、之は開國以來起つた二大潮流が、互に最も眞面目に自己の主張の徹底を圖る事に努力し、切磋琢磨し來つたからであつた、二大思潮といふのは、一は何處迄も日本固有の美質を重んじ、古に復つて其中から最もよい道を見出して進んで行かうとするものであつて王政復古といふが如きも此思想の發現と見る事が出來る、他の思想は即ち飽迄歐洲最新の文物を採用して、舊來の因習を打破して行かうといふにある。此二大思潮が互にもつれ合つて、種々な形を以て進歩を促し來つたのであるが、明治天皇陛下は彼の教育勅語を下し給ふて、國民の歸趨を明にし給ひ、忠君愛國主義の理想によつて、着々國威を發揚し、世界の一等國として、東洋に覇を稱ふるに至つた。

渺たる一島帝國が今日世界に重きをなすといふ事は甚だ愉快な事であるが、翻つて東洋全體からいふと、此東洋各國位團結力の缺けてゐる國は少い、これは東洋人の一大缺點であるが、單に團結力の缺けてゐる丈なら、未だ意とするに足らぬけれども、互に其國の因習に囚はれて動もすると或は戰を爭はむとするが如き惡現象あるは、慨歎の至りである、西洋諸國の如きは其反對に、常には各國互に反目し、或は戰爭し合つたにしても、東洋などに事變の起つた際の如きは忽ち團結し、以て國力を發展したのである。殊に佛蘭西と獨逸の如きは最も仲が惡かつた、お互に敵視し合つた國であるにも拘らず、いざ東洋に何か事變があるとなると立所に一致團結して事に當つて來た。彼の明治二十七八年日清戰役に於ける遼東半島還附の際の如きは其適例である。

□日露の親善と國家の地位

世界の狀態斯くの如くであるにも拘らず、支那の如きは國が寔に不秩序で、且つ紊亂極つて居るから勢ひ各國の干渉を受けなければならぬ次第で、前途心細き國なのである。茲に至つて初めて日本の監督を要する所以であるが、歐洲各國の如きは相競ふて支那國內に自己の利權を獲得せんとし、殆んど殖民地の準を以てする擧に出でやうとする狀態にありて、日本の監督は容易ならぬ地位にある。然るに露國の如きは一時我日本の意志の存する所を曲解し、日露戰爭を再び敢てするやうに考へて居つて、現に行はれてゐる歐洲の大戰亂の初めは、滿洲に三十五萬から四十萬の軍隊を駐屯せしめて警戒して居つた程であつた。故に露國としては右に獨逸左に日本を控へ、前門に虎が襲ふて後門に狼が嘯くの感があつて頗る苦悶したのであるが、其憂ひは全然誤りて、日本は決して露國に敵意を持たぬ、露國の權利を侵害しないといふ事が明瞭に判つた爲め、初めて安心する事が出來、其結果滿洲駐屯兵は全部、卽ち三十萬乃至四十萬の兵を西に送つて、獨逸の戰線に立たしむるを得たのである。露國に取つては幸此上も無い事であるに違ひない。故に日露の國交は最も親善となり、今回の如き露國皇帝陛下よりは天皇陛下御即位の御祝として特に大公殿下を御名代に御差遣あらせられた樣な次第に至つたのである。尤も御大典の際には世界各國の特使文武官が其御式に參列せられたが、斯樣な事は日本開闢以來未だ嘗て無かつた事で、之れ明に日本帝國が世界の一等國に列した事實の證明であると云はなければならぬ。

□國運と明治天皇の盛德

然らば斯樣な地位に進んだ我國の、興隆の眞因は何處にあるかといふならば、卽ち私は英明なる明治天皇陛下の御功績と申す事を憚らない。之を補弼し奉つた人逵も與つて力ある事は無論であるが 明治天皇陛下御乾德の數々を想ひ起すにつれて、帝國の興隆は宜なる哉と感ぜざるを得ないのである。昔孔子が、禹王の德をたゝへて『禹は吾間然する事無し矣、飮食を菲うして孝を鬼神に對し、衣服を惡しうして美を黻冕に致し、宮室を卑しうして力を溝洫に盡す、禹は吾間然する事無し矣』と言葉を極めて贊賞してゐるが、私は亦明治天皇陛下の御盛德を直に移してたゝへまつる事が出來る。明治天皇陛下が京都より御遷都遊ばされた當時は、長い間政が武門にあつた爲め、皇室の御經濟も從つてお自由でなかつたのであつて、常に御苦痛を召し遊ばされた御事は一々申すも畏き限りである。爾來國運の發展と共に皇室の御事も御自由に善美を盡す事を得るに至つても、陛下は親しく皇室を薄うして國家を厚うせられたのである。日常の事は出來得る限り御儉約遊ばされ、國家國民に關する事はそれと反對に出來得る丈御慈みの大御心を表はし給ふた。事例を擧げれば限りもないが、皇室の日常の御生活御狀態は實に凡てが御質素で、御什器の數々なども實に相應しからぬものをお用ひになつて居る。御居間の障子の如きは破れても奇麗に張替を遊ばさず、繼張りをしてお間に合はせ給ふ程で、御製の御歌なども一度お書きになつた紙の裏にお認め遊ばしたものなども

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

あつたさうである。お敷物にしても新らしい毛氈などを御用ひにならず、相當に年代の經つたものを其儘お用ひ遊ばされ而も一方國務には非常の御精勵であつた事などを追懷し奉るだに感涙に咽ぶばかりで、此君あつて此發展ありと首肯さるるのである。

御淑德彌高く坐せし照憲皇太后陛下の御事も申すも畏く、其の民を憐み給ふ大御心は、御製の詠歌によつても充分窺ひ知る事が出來るが、或時陛下御近親の重臣が、ある御什器の備はらざる爲め、それを御備へあらん事を御勸め申上げた、すると陛下は其重臣に問はせ給ふのに英照皇太后陛下にも矢張其什器をお手元に御備あるやとの事であつた。重臣は英照皇太后陛下の方にはまだお備付けになくない旨を言上すると、然らば自分が備付けるのは勿體ない、英照皇太后陛下の御不自由遊ばされたのは一通りではなかつたから決して備付ける事を欲しないと宣ふた。そこで英照皇太后陛下の方に伺つて見ると、英照皇太后陛下の仰せらるゝのに、先帝(光明天皇)陛下は國家多難の内に崩御遊ばされたのに後に殘つた自分が左樣な贅澤をしては、先帝陛下に對して相濟まぬから自分は買ふに及ばぬとの仰せであつた。勿論其御什器は非常な立派なものであつたには相違ないが、兩陛下の大御心は共に我々臣民の採つて以て鑑みとすべき事であらうと思ふ。帝國の今日あるは實に皇室の御稜威の然らしむる處たるは疑を容れぬのである。

□余が政治上の理想

然るに翻つて今日の社會の實相を見るに、全般に亘つて眞面目といふ事を見出すのが甚だ難い狀態にある。之を政治の上から見ても近來の不眞面目は實に甚しく、徒らに黨爭を事として國家の利害休戚を顧みず、權謀術數を弄して政權に喝するの狀は、實に深慨に堪へないのである。私の政治上の理想をまた孔子の言葉を借りて述ぶれば、或人が孔子に謂つて曰ふのに、『子奚ぞ政を爲さゞる』と問ふた。之は孔子が諸國を經巡つて口に政道を說く計りで、一向適當な君主を得て其經倫を行はないから、多少嘲つて尋ねたのであつたが、之に對して孔子が曰へるのに、『孝なる乎、惟孝なり、兄弟に友なり、有政に施さず、是亦政を爲なり、奚ぞ其政を爲すとせん』と答へたが、父母に孝に兄弟に友なるは一家の政である。國を治むるにも其義を推し廣めた迄で、殊更に國政をのみ政といふのではない。人たるの道を說くのも亦政治であると云つたさうであるが、全く其通りで、我々は先づ我々自ら眞面目になつて、身を修め家を齊へなければならぬ。『其國を治めんと欲する者は先づ其家を齊へ、其家を齊へんと欲する者は其身を修め、其身を修めんと欲する者は先づ其心を正しくせよ』と書いてあるが、我々は先づ眞面目な社會にあつて眞面目に返らなければ到底眞實の幸福は來るものではない事を信ずる。今日の普通の人から見ると私のやうな政治も亦眞面目に行ふ可きものであるとする者は、迴り遠い迂遠な者のやうに見ゆるであらうが、私は飽迄之が最後に來るべき正道である事を信じてゐるから、世の毀譽褒貶に顧慮せずして所信を行ふ覺悟である。これはたゞに政治上のみでなく、今日の急務は社會の各方面に漲つてゐる不眞面目の空氣を一掃する事で、藝妓行列などを是認するやうな社會の低級な道德を高め、男女道德の根底を定め、國威發展の眞因をたづねて更に之を體現擴充し、明治天皇陛下と共に今日の興隆を招來した先人に對し、更に一層の努力を以て國威を海外に輝かし、國民の幸福を庶幾するやうにしたい思ふ。

男女交際の新道徳

廓清會評議員
法學博士　浮田和民

□戀愛なき國民

男女の交際は神代時代伊珊那諾伊珊那美尊の天の岩戸にまぐあひあらせられた時から始まり、西洋ではアダム、イブのエデンの園に始まる。併しバイブルに書いてあるのは紀元前四千餘年としてあつて、之を人間の始まりとするのは大間違で人類が出てから十萬年乃至二十萬年を經過し、禽獸の間から進化し來つた事は疑を容れぬ。エヂプト、カルデヤの文明の開けてからだけでも一萬年になり、紀元前五千年乃至六千年の昔の記録もある。要するに男女交際の始まつたのは斯くの如くに古いのであるが、今に完全なる男女交際の發見された國はない。日本の如きは十九世紀の後半期迄は別天地にあつて、男女道徳は丸で逆になつてゐる。日本が西洋人と意志の疎通しないのは道徳的に違つてゐる點にある。如何なる點に於て違つて居るかといふと、日本では神代の時代素盞男尊天照皇大神時代から男女交際を認めてゐるが、其發展の結果が段々男尊女卑に傾いた。殊に徳川時代に及んで、女子の自由は其以前より大に制限され、女子は家督相續の權もなくなつた。上代に於ては女は兩親の家にあつて、男之に通ふた爲に、男の婦人を愛する戀歌は、如何にも戀愛の至情が溢れてゐる。然るに近來のは考へて戀歌を作るのであつて、昔は其情緒が直に歌となり、近世は頭でこしらへるのであるから、從つて見るに足るものがない、日本には戀歌は古代にあつて近世にはないのである。これは男性的道徳又は武士の道徳を發展するには有效で、所謂武士道を極端に發揮するには戀愛を排斥する必要があつた、斯くて日本人は戀愛を知らざる國民と名けてよい迄になり了つた。例外はいくらもある、併し大體に於て民間に戀愛といふものを解してゐない。

―――(●)―――

□西洋の武士道

然るに西洋には戀愛が非常に發展した、これは中世ゼルマン族が發展した爲めで、野蠻時代は何處も男女平等である。歷史家などは誤解してゐるが、男女共同して戰に出るといふ事は珍らしくない、殊にゼルマン人などは平等に戰場に出て働らいた。そこへキリスト教が這入つたから、愈々男女平等の根底がしかれ、歐羅巴には婦人崇拜の風が這入つたのであ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

るが、日本にはさういふものが這入らなかつたから、次第次第に男尊女卑の風が馴致されて、新田義貞と勾當の内侍の戀の如きは武士の面目を害するものとなし、正行の如く拒絶するのが理想となつて來た。

西洋では野蠻時代の男女平等にキリスト教が結び付いたから、日本の様な弊に陥らずして其儘發達し、別種の武士道をなした。西洋の武士は弱きを助くるにあつて、弱き女と僧侶をを助くるのが即ち任俠となつてゐた。僧侶は戰場に武器を携へぬ、身に寸鐵を帶びずして天下を公行するのであるから弱い女と僧侶とを助くるといふ此二ケ條は、必ず武士の守らねばならぬ處となつた。然らば西洋人は悉く女を辱しめないかといふとさうではない。强姦や誘拐やがあつたに違ひない併し武士の理想は婦人と僧侶を助けいたはるにあつた。それが段々發達して歐羅巴には立派な武士道を持つてゐると共に戀人を胸に持つてゐた。彼等には君の爲めといふ事の外に戀人の爲めといふ事があつた。此二つ以外には此世に於ても未來に於ても何んにもいらないのであつて。戀愛神聖は新說のやうに思ふけれども、中世以來戀愛崇拜は存在して居つた。

併し甚だ如何はしいのは、戀愛する婦人があれば、其婦人の喜びを見るのを此上なき樂しみである幸福である、としたのはよいが、その戀愛は夫婦間ではなく夫婦外にあるのが定義で、戀愛なるものは夫婦外のものとし、通常不道德なことも戀愛ならば許されたのである。多くの男と又は女と通ずるのは今日の文明諸國では無論排斥するが、戀愛の結果なら表面は排斥してゐても實際は同情してゐるのが現狀である。

□墺人の戀愛觀

オーストラリヤに於て先年疑獄が起つた、數人の武官が毒殺の難に逢つたものがある。それは露探の所業であらうといふので世論は沸騰した。嫌疑は同僚の武官にかゝつた。輿論は其男を非常に憎み擯斥した。處が段々調べると成程彼が犯人ではあつたが、彼には妻があり妻は其武官を愛してゐた。けれども位置が低いから日曜など車に乘せて劇場にも行けなかつた。武官には三人の上官があつた、それが死ねばすぐ昇進が出來、妻を喜ばせる事が出來るといふ處から、毒殺を敢てしたのであつたといふ事が分つた。これが日本なら鬼か蛇のやうにいふであらうが、オーストリヤに於ては、今迄露探の嫌疑として誰一人差入して呉れる人もなかつたのに、同國の人心は忽ち一變して同情は翕然として集まり、其日から差入もある見舞人もあるといふ風になつた。日本では全く分らぬ病的現象である。けれども之は歐羅巴にあつては中世以來の思想で、殊に墺國はカトリック教を信じ、マリヤを崇拜してゐる國柄だからである。神様は何だか恐ろしい、キリストもちと恐い、マリアなら女で怖くないから慈悲の神様にして崇拜した。其同性の女の爲めに罪を犯したのは可哀想だといふ思想がある。

斯様に西洋には戀愛を尊ぶ習慣が歴史的に存在してゐるのであつて、歴史傳記などを播くと日本人としては意外な事が多い。假令ばネルソンであるが、ナポレオンを破つて英國を救ふた英雄をして皆人の尊敬する所であるけれども、トラ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ファルガルの戰ひの時書いた遺言を見ると實に驚くのである彼には豫て女房もあつたが、外交官のハミルトン夫人といふ絶世の美人と關係のあつたのは公然たる事實で、中に私生兒も出來てゐる、遺言狀にはそれが認めてあつて、自分が英國に殘す片身は、ハミルトン夫人との間に殘す私生兒であると云ふといふ事がある。當時はまだ私生兒の事は發見されてゐなかつたのであつて、實はトラファガルの戰も熱烈なる愛國の至誠からといふよりは、寧ろ婦人の激勵の結果、婦人の爲を思つて彼の勇敢なる戰が出來たのである。

□ミルの戀愛と世評

ジヨン・スチウワードミルといふ大先生は、日本でいふなら差當り福澤先生で、それ以上の勢力を持つた人であるが、此人の家庭生活を見ると又甚だ異常である。二十四五歳の時テイロール夫人と邂逅し、一度相見て相思の仲となつた。一方は既婚であり一方は未婚であつたが、さうした形式は何等二人の戀情を隔つる力とはなり得なかつた。されば夫のテイロール氏は二人の間を裂く爲に餘程骨を折つたけれども、やはり何の効果もなかつた。二人の交情は到底人力を以て裂くに裂かれぬ程のものであつた。併し乍ら二人は決して不倫の關係になつたのではない。ミルの人格に對してそれは外國人たる私も保證する。ミルは結婚するなら斯ういふ婦人でないなら厭だと考へた。夫のテイロールは二人の到底裂く可からざるを悟つて一週間に一度二人の會見を許す事になつた。テイロールといふ人も餘程寛仁大度の人であつたと見へる。一週に一度會見の自由を與へ、ミルの訪問を許し、自分は其室を避けて交際をさせたといふのは、日本のみでなく、西洋でも吃驚する位である。一方ミルの父母は心配して他人の妻に懸想するなどゝいふのは怪しからぬ。子供の時から望を囑した大切の總領が、他人の妻などゝ妙な事になられては大變であると考へて、遂に母子の交情を害するに至つた。斯樣な事は正に日本では不倫兒として排斥を受けるのであるが、西洋では何とも云はぬ。ミルは學者で、意志の强い人で、義俠に富んだ方面のミルのみを觀て、テイロール夫人との關係は、單に人情の優美な事としてそれ以上には誰も一切論ぜぬ、書かぬといふ事になつた。かくて彼は五十近く迄獨身で其交際が持續されたが、偶然にも大なる出來事が彼を見舞ふ事となつた。それはミルの晩年にテイロール氏が死んだ事で、圖らざりし結婚か偶然近よつたのである。妻は一生娶らぬと覺悟してゐた彼は、玆に從來思ひも寄らぬ希望を生じ、一年の喪を濟ました後で、二十代から戀し合つたテイロール夫人と結婚をしたのである。而も琴瑟相和する事僅に七年にして、夫人はミルに先つて逝いた。彼の哀悼の如何なるものであつたかは說くを須ひぬ。テイロール夫人の墓が佛蘭西の南部にあるところから、彼も亦海を渡つて其の墓の側に一生を終つたのである。

□戀愛を復活せよ

ミルの生涯は斯樣な哀史を以て飾られてゐるが、日本には類型がない、西洋とても稀である。ミルの如きは社會の一面

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

から見れば確に不倫である。ミルの此事に就ては近頃になつて、此四五年漸く問題になつて來た。ミルの生きてゐる間はミルに對する尊敬から誰も云はなかつた。日本でいふならミルに攻撃すべき點が澤山ある、西洋でも不倫とする事を社會が這麼に恕して寛大にするのは例外で、極端は例であつて日本に廣めたいとは思はぬ。私はたゞ日本と違つてゐるといふ丈を申述ぶるに止めて置く。

斯く極端に戀愛崇拜に傾いた處に比較すると、日本などは殆んど撲滅無視され、穢らはしとされて、日本には戀愛なし戀愛を知らぬ國民なりといひたい狀態にある。私なども若い時から知らない、經驗した事がない。歷史には節と義經の如き悲壯な戀愛關係もあるけれど、近頃はない、あるかも知れぬが見付からない。男子生れて戀愛を知らぬといふのは實に不幸中の不幸で、これは是非復活したい。神代の形や萬葉の形で復活するのはいけないが、私は今日の時勢相應の復活を希望する復活論者である。

時勢相應の復活とは如何といふと、夫婦外の戀愛關係でなく私は夫婦關係を戀愛關係にしたいと思ふ。朝夕食を共にする丈では宿屋のお神さんも同樣であり、宿番、飯焚きたるに過ぎぬ、又は亭主を見る事番頭の如きであつては困る。スエーデンの女傑エレン、ケイが戀愛神聖を稱へるのは尤で、夫婦の法律關係が經濟關係ではいかぬ、それを脫した戀愛で行かなくてはならぬ、といふのがエレンケイ等の說で、之は法制を無視するやうになるから一部は贊成であるが全體に首肯する譯には行かぬ。

戀愛なくして夫婦になるのはいけないといふ事が、直に原則とされないなら、今戀愛がなくとも、『將來戀愛するを得るや否や』が結婚の約束の基礎とならなければならぬ。之は社會改良の問題として大に努力を要する點である。

□自己侮辱の結婚

カリフォルニアにある日本の男子は、日本から寫眞を取寄せ、之れによつて判斷して妻を定める。船の着く度に見てびつくり、女が逃げる男が逃げる、斯くてカリフォルニアの日本人の間に笑話又は悲劇の種を蒔き新聞雜誌を賑はしてゐる併し乍ら實は日本人の結婚法は殆んど悉く寫眞結婚で、見て吃驚、結婚がすむと直ぐ逃げて來る女、逐出す男が少くない。戀愛結婚は上流にはなく寧ろ下層にある。此點に改良を要すると思ふ。顏を見た丈の結婚ならやはり寫眞結婚で、甚しきは女の方は全く男を見ず、男からだけ女を盜み見て定めるものもある。あとであの芝居の見物が見合であつたといふ事を聞く位な事、こんな有樣ではいけない、互に其人物性格を知る機會がなくてはならぬ。其うした機會がないから離婚が生ずるので、且つ藝娼妓の生ずる所以となるのである。家庭は凡ての點で、面白くないから藝妓娼妓の絕ゆる間はない。藝娼妓を絕滅せんと思ふなら、男女交際の道を開き、積極的に男女がよく交際して、戀愛し得る程度に解放したい。それ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

3－548

が互にすぐ親のいふ事も聞かず、手を携へて走るから困る、ほんとうの結婚は冷静に考察すべきで、互にのぼせ上げて走るやうでは、戀愛結婚の成功は期せられぬ。

よく戀愛結婚に成功はないといふが、戀愛が激烈に獰猛にのぼせるやうなものなら、それはいかぬ。親の許しを得ず、友達にも通じないで、心中するならまだいゝが、喧嘩をして分れるやうなものは、それは病的現象で、戀愛は冷静に情熱でなく、理智の明を以て判斷したものでなくてはならぬ。斯樣な結婚に成功がないとは信ずる事が出來ぬ。其の實際方法を講ずるのは、今容易ではないが、此理想で行かなくてはいけない。

□戀愛結婚を勸む

亞米利加と英吉利とは此點に於て非常に自由で、親は干渉せぬ。其の結果が失敗に歸し禍を醸つて不幸の結果を生んでも、自分の好きで起つたなら自分の過ちで諦められるが親が與へたのが誤つたなら二重に氣の毒であると考へられてゐる。亞米利加は新開地で、因襲に縛られないから、自由に男と交際するが、自分を誘惑する樣な男子を排斥して、男子の學校に共に机を並べて間違がない。これは日本にもしたいが容易に適用が出來ぬ。佛蘭西は日本に近く、結婚したい時は、娘丈の承諾ではいかぬ、まづ交際を親が認諾せなくてははならぬ、そして交際の後に約束する。約束の時期が半年か一年、乃至三年と續く、互に約束だけで戀愛で交つてゐる。此の約束期が最も愉快な時として、小說として、神話的に味ふ。日本にはそれがない、寫眞位ですぐ結婚するから歌にならない。西洋の此の約束時期は人生の最も愉快な時としてあるのに日本に此愉快と希望とがないといふは、確に日本人のの大なる損失である。社會の組織が違ふから、すぐに眞似る譯には行かぬか、寫眞結婚や見合結婚を廢して、戀愛の上に國家に對する義務、人類に對する義理を考へるやうにしたいと思ふ。

戀愛神聖論から云へば肺結核や癩病のものでもよい譯だが假令戀愛であつても不治の病に罹つたらいけない、又惡遺傳の場合は自分の種を斷たねばならぬ。

斯ういふ問題は日本には考究されてゐない。偶にあつても小說的に書き立てるか笑話として見られ、神聖なる家族の任務を無視するといふ樣になりつゝある。夫婦になつた以上、他には男はない、又は女はない、人間は澤山あるが異性はないと思ふ迄に到りたい、自分の夫とし妻とした以上は、眞に愛するといふ心があれば外に關係などを結ばなくても濟む。日本のやうな男女關係の亂れてゐる國は、神聖なる戀を發展する事が必要である。（文責記者にあり）

數字上より觀たる全國各方面の風教狀態

伊藤江南

全國の風教狀態を抽象的の推論でなく、なるべく具體的に明瞭にする事は風紀廓清の運動の上に極めて必要な事である余は最近の材料によつて數字上から之を調べて見た。元來統計といふものは正確なものではない。我國に於ては未だ現住人口の統計さへ正確なものはないのである、現に大正二年末の在籍人口は五千三百三十六萬二千人であるのに、現住人口は五千五百十三萬一千人になつてゐる、海外にある者の四十萬人を差引いても約二百二十萬人からの超過を示してゐる。實に甚しい相違で、これでは殆んど統計にならぬ。そこで内閣統計局に於てはこれを甲種現在人口とし、更に事實に近い乙種現在人口なるものを割出して作つてゐる位である。吾人も亦止むなく此乙種現在人口によつて別表を作る事にしたのであつて、此統計なるものは、大勢を示すものに過ぎない事を斷つて置かねばならぬ。

次に無配偶の青年の算出は十八歳以上五十五歳迄の無配偶の男子の總數と總人口との比を以て、各府縣別の總人口に割當てゝ得た數である。滿十七歳以下及び五十六歳以上の男子は性慾問題に關係なきものとし、且つ配偶のある者も假りに控除してしまつた。それは公娼制度といふものは、青年の性憤を洩らす爲めに必要なのだ、性慾は天慾なりなどいふ謬論をする人があるので、果して然らば其無配偶の青年と賣笑婦との關係は如何なるものであるかを調べて見たのである。而して其結果は公娼制度なるものは、決して天慾である處の性慾を洩す爲めに存在するものでない。一部の道樂者の爲めに存在するに過ぎない、大部分の無配偶の青年は、數字の上から明白に公娼に接するを得ざるものである事を證據立つる事を得た。紙面の都合上詳細は次號に於て論ずる積りであるが要する公娼制度なるものは、人口の増加に比例してゐない、之れに反して私娼は著しき増加を示して、公娼制度が時代の要求にも適合せないものである事を示されてゐる。

併し乍ら、私は、離婚、私生兒、風俗上の各種の犯罪、其の他の數は公娼の多寡に比例しはしまいか、少くとも公娼私娼の和には比例するであらうとの、期待を以て見ると意外にもその當ては離づれて公娼私娼とは殆んど無關係に存在する事を示した。假令ば島根縣に於ては公娼の如きは無配偶の青年千人に對し、殆ど一人にも當らず、私娼を加へても僅少であるのに、私生兒の數は異常に多數を示してゐる。之は即ち野合の多い事を證したものである。(正式の結婚屆を怠る土地の風俗もある)が、そんならと云つて最も公娼の多い大阪府も亦多數を示してゐるのであるから、私は更に第二の研究に這入つて見やうと思ふ。

花柳病との關係は山田博士(陸軍省の衞生課長)から近日中に材料を頂く約束であるから來月號に於て發表する。

數字上より觀たる

道府縣別	總人口	內男	內女	貸座敷 四十三年	貸座敷 大正三年	引手茶屋 大正三年	待合茶屋 四十三年	待合茶屋 大正三年	料理店 四十三年	料理店 大正三年	飲食店 四十三年	飲食店 大正三年
北海道	一、六五〇、一〇〇	八六二、三〇〇	七八七、八〇〇	三五一	三四一	—	—	—	一、七四六	二、一四三	三、二九九	三、九二二
東京	二、八〇九、六〇〇	一、四七〇、七〇〇	一、三三八、九〇〇	五八〇	四九一	二五	九三三	一、三二〇	七二二	八八一	三、八九一	一五、三六八
京都	一、二二三、七〇〇	六二四、四五〇	五九八、三〇〇	一、八五六	一、八七七	—	一八〇	一二九	四八一	六三八	五、一七三	五、四九〇
大阪	二、一七五、七〇〇	一、一四一、五〇〇	一、〇三四、二〇〇	一、六三八	一、五九七	—	一四九	九三	六四九	七六九	二、五六四	二、六八五
神奈川	一、一四五、一〇〇	五九八、三〇〇	五四六、八〇〇	一七三	一七八	八	一〇二	一一七	七〇六	六九七	二、六五一	三、五九〇
兵庫	二、〇四八、五〇〇	一、〇四八、八〇〇	九九九、七〇〇	二二〇	二二三	—	二九	一二	一、五三二	一、八〇〇	八、六四四	八、二〇五
長崎	一、〇八二、六〇〇	五四九、二〇〇	五三三、四〇〇	二七六	六九五	—	二	一五	二八八	三七五	一、六五二	一、七六三
新潟	一、八七七、六〇〇	九二五、三〇〇	九五二、三〇〇	四二四	四二三	二	三一	三六	一、三四九	二、三一五	二、〇〇〇	一、〇五六
埼玉	一、三〇四、七〇〇	六四二、〇〇〇	六六二、七〇〇	二三	二一	—	一三	八	六九五	六七四	一、〇八四	九七五
群馬	九八四、五〇〇	四八七、二〇〇	四九七、三〇〇	—	—	—	—	—	八二七	七八六	二四六	二九九
千葉	一、三六七、四〇〇	六八二、二〇〇	六八五、二〇〇	三六	三三	九	—	—	一、一四〇	一、三四〇	六六〇	六六九
茨城	一、二九〇、〇〇〇	六四二、二〇〇	六四七、八〇〇	四五	四三	—	—	—	一、五三六	一、五九二	三、五五八	三、五九七
栃木	九九五、七〇〇	四九八、二〇〇	四九七、五〇〇	九八	九七	二八	—	二	一、七九九	一、四八七	三四六	一、七六〇
奈良	五八〇、二〇〇	二九〇、八〇〇	二八九、四〇〇	五九	六一	—	—	—	四九五	五九〇	一、六六五	一、三六九
三重	一、〇七七、九〇〇	五三六、六〇〇	五四一、三〇〇	三七三	三八九	—	—	—	三四八	三六三	二、七八八	二、六六九
愛知	一、九六二、五〇〇	九八九、三〇〇	九七三、二〇〇	三三四	三三三	—	一八	六六	一、七四四	一、八四六	一、三七二	一、四五五
静岡	一、四六一、八〇〇	七三五、九〇〇	七二五、九〇〇	一二四	一一三	九	四	四	四三三	五三二	七、三三四	八、七六九
山梨	五八五、七〇〇	二九〇、六〇〇	二九五、一〇〇	二四	二三	—	—	—	一四四	一五三	六四七	六七六
滋賀	六七一、二〇〇	三二五、三〇〇	三四五、九〇〇	三二七	二五五	—	—	—	四六三	四九三	二、六九五	二、三〇〇
岐阜	一、〇六五、〇〇〇	五三七、七〇〇	五二七、三〇〇	八六	九八	—	—	—	九八九	一、〇六四	一、三四二	一、九二
長野	一、四四八、六〇〇	七二〇、〇〇〇	七二八、六〇〇	一五〇	一四七	—	四	九	二、〇〇五	二、四五二	四、一八九	三、九九〇
宮城	九一二、七〇〇	四六〇、一〇〇	四五二、六〇〇	六〇	六二	—	三	二八	六〇〇	六二〇	二、一一三	六九四
福島	一、二六〇、六〇〇	六二六、三〇〇	六三四、三〇〇	一一二	一六二	—	五九	一九	四九九	四八三	一、七七〇	一、六〇四

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

全國の風教狀態 (一)

岩手	八二七、五〇〇	四一七、〇〇〇	四一〇、五〇〇	九一	九七	—	—	—	四四〇	四九四	一、六六〇	一、九四五
青森	七四七、二〇〇	三七九、五〇〇	三六七、七〇〇	一三八	一四九	—	—	—	七二	三四三	四四	一、一三四
山形	九五〇、七〇〇	四七二、五〇〇	四七八、五〇〇	一六八	一七六	—	—	—	四七	一八五	四一五	九六二
秋田	九一八、八〇〇	四六九、一〇〇	四四九、七〇〇	八四	八二	—	—	—	二五	二五七	一三	二九四
福井	五三七、一〇〇	三一五、七〇〇	三二一、四〇〇	一八九	二一九	—	—	—	一七八	七九三	三六	八三三
石川	七七九、四〇〇	三八四、七〇〇	三九四、七〇〇	四四七	四五七	—	一	一	四六	四三五	一二一	一、三八五
富山	七八四、一〇〇	三九二、五〇〇	三九一、六〇〇	二八七	二六五	—	一	—	八一	六六六	一二六	六九八
鳥取	四五五、二〇〇	二二五、四〇〇	二二九、八〇〇	五八	五九	—	四	一	四二〇	二八九	二一	一、六五〇
島根	七五〇、八〇〇	三七五、四〇〇	三七五、四〇〇	三三	三九	—	一	三	一、〇三四	五九二	三〇	一、八四二
岡山	一、二三四、二〇〇	六二六、五〇〇	六〇七、七〇〇	一七六	二〇〇	—	—	—	五五八	一、三九一	三七八	二、九〇三
廣島	一、六二四、五〇〇	八二六、五〇〇	七九八、五〇〇	三三九	三九六	—	三五	五六	八五〇	八一七	四一三	四、四六七
山口	一、〇六〇、九〇〇	五三一、五〇〇	五二九、四〇〇	一八二	二一八	—	二	五	九二四	三九二	一、〇〇三	三、三四〇
和歌山	七五七、七〇〇	三七七、四〇〇	三八〇、三〇〇	一七	八二	—	—	—	四五五	三三〇	二三二	一、〇七[illegible]
徳島	七二四、七〇〇	三六三、五〇〇	三六一、二〇〇	七三	七九	—	三〇	四二	七七六	八六七	二二八	一、二七三
香川	七四四、一〇〇	三七六、二〇〇	三六七、九〇〇	一三六	一三三	—	—	—	一、〇〇〇	八七二	四三五	二、四五[illegible]
愛媛	一、〇九三、一〇〇	五四八、八〇〇	五四四、三〇〇	四三	四五	—	—	—	一、七九四	七四一	一七七	二、三九七
高知	六九〇、二〇〇	三四五、四〇〇	三四四、八〇〇	五〇	五八	—	—	—	九一五	四〇五	四六	一六八
福岡	一、八〇八、二〇〇	九一四、三〇〇	八九三、九〇〇	一四七	一五八	—	七八	一二	八六九	一、三〇一	三二一	四、三七一
大分	八九九、六〇〇	四四六、〇〇〇	四五三、六〇〇	六三	八〇	—	—	—	一、〇六八	四〇五	七七	二、八五一
佐賀	六七八、六〇〇	三三五、〇〇〇	三四三、六〇〇	七四	八五	—	—	—	四一五	三四七	一五六	一、五五六
熊本	一、二七九、三〇〇	六二三、七〇〇	六五五、六〇〇	九八	九九	—	四	二六	一、〇二三	三〇七	七八	一、九四九
宮崎	五五五、六〇〇	二九五、五〇〇	二九〇、一〇〇	一七	二五	—	—	—	五二七	二一三	四〇	二、二五〇
鹿兒島	一、三六八、七六〇	六七一、八〇〇	六九六、九〇〇	三三	二三	—	—	—	八二	三四七	三三	二六一
沖縄	五三一、二〇〇	二五九、二〇〇	二七二、〇〇〇	五〇八	四九三	—	—	—	六五	七二	八	一、〇〇五
合計	五二、九一一、八〇〇	二六、六五七、二〇〇	二六、二五四、六〇〇	一〇、七九三	一一、三七四	一七二	一、七〇二	二、一一三	二〇、二九一	三六、八一三	七六七、七一〇	一一七、一六七

數字上より觀たる

道府縣別	娼妓 四十三年	娼妓 大正二年	藝妓 四十三年	藝妓 大正二年	酌婦 四十三年	酌婦 大正二年	藝、娼、酌、總計 四十三年	藝、娼、酌、總計 大正二年	無配偶ノ青年男子 大正二年	無配偶ノ青年女子 大正二年
北海道	二、三六二	二、二二六	一、五二二	一、四二〇	一、二四八	一、五一七	五、〇三二	五、一六三	一八七、六〇〇	一五六、六〇〇
東京	六、七八一	六、〇四二	四、一六〇	五、六八四	—	二、六〇八	一〇、九四一	一四、三三三	三二九、四〇〇	二六六、六〇〇
京都	二、五五二	三、二六〇	一、五六〇	一、六六七	八二〇	一、二二三	四、九三二	六、一四九	一三九、〇〇〇	一一六、〇〇〇
大阪	七、一一六	五、九六七	三、〇五八	三、四五四	二三三	二〇三	一〇、四〇六	九、六一四	二四七、三〇〇	二〇六、四〇〇
神奈川	二、七六七	二、五九三	八三八	九九四	二、一四九	二、〇一〇	五、七五四	五、五九七	一三〇、二〇〇	一〇八、六〇〇
兵庫	一、七一〇	二、〇九四	二、一九五	二、六八六	三、六六四	三、六八七	七、五六九	八、四六七	二三二、九〇〇	一九四、四〇〇
長崎	二、二〇七	二、五四九	五七三	七一三	五〇三	一、一〇二	三、二八三	四、三六三	一三三、一〇〇	一〇二、七〇〇
新潟	一、四一七	一、八二二	二、〇八六	二、三一九	—	—	三、五〇三	四、一四〇	二一三、四〇〇	一七八、一〇〇
埼玉	一二六	一四七	二三六	三二〇	七三一	九一七	一、一九三	一、三八四	一四八、二〇〇	一三三、八〇〇
群馬	—	—	四九六	六九五	八三〇	九四七	一、三三六	一、六四二	一二一、九〇〇	八三、四〇〇
千葉	二八八	三〇四	二三一	三三六	二、〇七三	二、六四七	二、五九二	三、二七七	一五五、四〇〇	一二九、七〇〇
茨城	二〇九	二四三	三五二	四三五	二、二一一	二、九六[illegible]	二、七七二	三、六四三	一四六、六〇〇	一二三、四〇〇
栃木	六三九	八〇五	五四八	七六四	五〇六	七六六	一、六九三	二、三三五	一一三、二〇〇	九四、五〇〇
奈良	三九一	四八六	三九一	二三四	八五一	七一九	一、六三三	一、四三九	六五、九〇〇	五五、〇〇〇
三重	一、六六一	二、一四八	七一六	八五九	五三四	五七六	二、九一一	三、五八三	一三三、五〇〇	一〇二、二〇〇
愛知	二、一〇二	二、二八二	二、〇九七	二、六一九	二、九七〇	二、七五五	七、一六[illegible]	七、六五六	二三三、一〇〇	一八六、二〇〇
靜岡	五九七	七二五	九一四	一、〇四六	一、九八五	二、四一四	三、四九六	四、一八五	一六六、二〇〇	一三八、七〇〇
山梨	二〇七	二〇一	一六四	一六〇	四八三	六二七	八五四	九八八	六六、六〇〇	五五、五〇〇
滋賀	三三五	三〇九	四一六	三七二	二七八	四九二	一、〇二九	一、一七三	七六、三〇〇	六三、七〇〇
岐阜	六九九	八〇六	六八八	九三四	七八九	九二七	二、一七六	二、六六九	一二一、一〇〇	一〇一、〇〇〇
長野	九六三	一、〇三九	一、四六〇	一、九五六	一、二〇二	一、一三六	三、六二五	四、一三一	一六四、七〇〇	一三七、四〇〇
宮城	四二三	四八	二三四	二七四	八三五	八九一	一、四八一	一、六四七	一〇三、七〇〇	八六、六〇〇
福島	六二八	七一六	六〇四	八七四	四四五	五〇三	一、六七七	二、〇九三	一四二、三〇〇	一一九、六〇〇

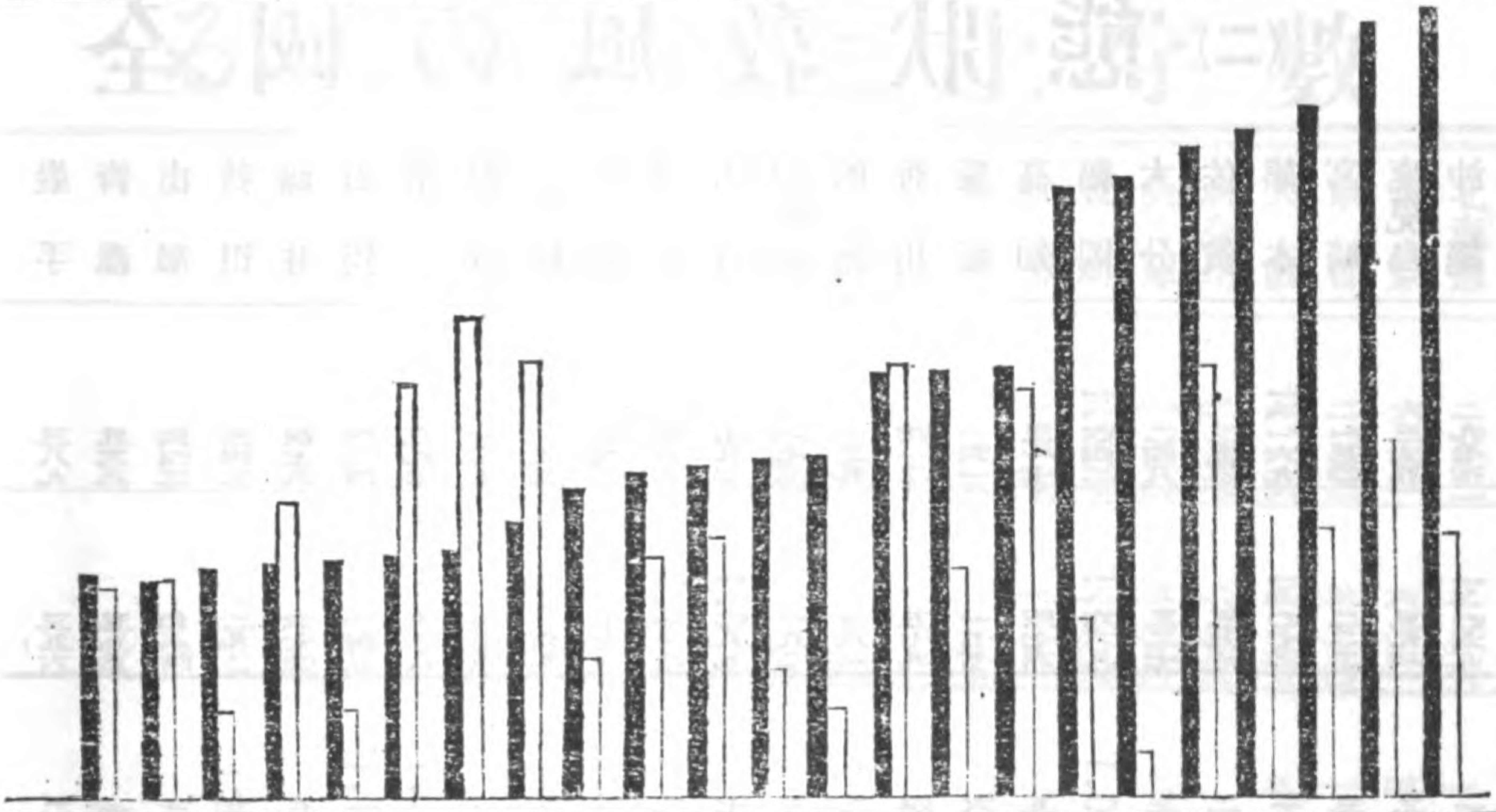
Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

全國の風教狀態 (二)

巖手	三八九	三五六	二四二	二一四	二一八	一四九	七四九	七一九	九四、一〇〇	七八、五〇〇
青森	五六三	五五三	一五二	二〇八	一三七	一六七	八四二	九二八	八四、九〇〇	七〇、九〇〇
山形	八四三	九八四	三三一	四三四	二五九	二六四	一、四三三	一、六八二	一〇八、一〇〇	九〇、二〇〇
秋田	三四三	二九二	二三三	九六	一八七	二九	七五三	六四七	一〇四、四〇〇	八七、二〇〇
福井	四七八	六七〇	五八五	七四四	―	―	一、〇六三	一、四一四	七二、四〇〇	六〇、四〇〇
石川	四〇四	四四五	一、一〇三	一、五四五	―	―	一、五〇六	一、九九〇	八八、六〇〇	七三、九〇〇
富山	三九七	六〇八	一、一八九	一、四〇〇	―	―	一、五八六	二、〇〇八	八九、一〇〇	七四、四〇〇
鳥取	一三七	一五六	一五四	二五三	四一	二四三	三三二	六七二	五一、七〇〇	四三、二〇〇
島根	五五	六九	三六九	五〇八	三五一	四八二	七七五	一、〇五九	八五、三〇〇	七一、二〇〇
岡山	五四一	七七一	四四二	五六七	五六	三四	一、〇三九	一、三七二	一四〇、三〇〇	一一七、一〇〇
廣島	一、七八六	二、一一三	九七三	一、〇七八	三三五	四七六	三、〇八四	三、六六六	一八四、七〇〇	一五四、一〇〇
山口	一九〇	一、〇八九	七七五	九三〇	三一一	二七二	一、八七六	二、二九一	一二〇、六〇〇	一〇〇、六〇〇
和歌山	一七二	一八二	五〇七	四三四	二〇五	三七五	八八四	九九一	八六、一〇〇	七一、九〇〇
德島	二一九	一八一	二八八	二四二	二六七	五五八	六八四	九八一	八二、四〇〇	六八、七〇〇
香川	四一三	五七九	四九九	四六七	一八七	四三六	一、〇九八	一、四八二	八四、六〇〇	七〇、六〇〇
愛媛	一六一	一一七	六三三	九四四	一一	五三三	九〇四	一、六四三	一二四、三〇〇	一〇三、七〇〇
高知	三一七	四七六	五七五	二五四	―	四五〇	八九二	一、一八〇	七八、四〇〇	六五、五〇〇
福岡	一、四四二	一、六六八	一、〇一八	一、二四八	三、九九五	四、八一三	六、四五五	七、七二九	二〇五、六〇〇	一七一、六〇〇
大分	二四八	三一七	三六〇	六九三	二一四	三七五	八二三	一、三九五	一〇二、三〇〇	八五、三〇〇
佐賀	三五三	三八三	三三三	二九四	五〇四	七四三	一、〇七九	一、四二〇	七七、一〇〇	六四、四〇〇
熊本	一、一六九	一、〇七三	一八一	二〇六	四六九	五八六	一、八一九	一、八六五	一四五、四〇〇	一二一、四〇〇
宮崎	一三〇	二三二	三〇三	五一七	―	―	四三三	七三九	六六、五〇〇	五五、五〇〇
鹿兒島	三六五	三九一	二八五	三三五	五八四	九四一	一、二三四	一、六五七	一五五、六〇〇	一二九、九〇〇
沖縄	九七七	一、〇六九	一一三	六四	四〇〇	四二一	一、四九〇	一、五五四	六〇、四〇〇	五〇、四〇〇
合計	四八、七六九	五二、〇九七	三七、〇三八	四四、四六九	三三、九五六	四四、一九九	一一九、七六二	一四〇、七六五	六、〇一三、四〇〇	五、〇〇九、七〇〇

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

數字上より觀たる
無配偶の青年と公娼との



道府縣別	無配偶ノ青年千人ニ對スル娼妓數	娼妓一人ニ對スル無配偶青年ノ數
大阪	二四、一	四一、四
京都	二三、四	四二、六
長崎	二〇、六	四八、二
神奈川	一九、九	五〇、二
東京	一八、九	五二、八
沖繩	一七、六	五六、五
三重	一七、五	五七、〇
北海道	一一、八	八四、二
廣島	一一、四	八七、四
愛知	一〇、三	九七、七
福井	九、二	一〇八、〇
山形	九、一	一〇九、八
山口	九、〇	一一〇、七
兵庫	八、九	一一一、二
新潟	八、五	一一七、一
福岡	八、一	一二三、二
奈良	七、三	一三五、五
熊本	七、三	一三五、五
栃木	七、一	一四〇、六
香川	六、八	一四六、〇
富山	六、八	一四六、五
岐阜	六、六	一五〇、一
青森	六、五	一五二、五

	猥褻姦淫の罪		墮胎の罪		略取誘拐罪		合計	
	檢擧數	人口トノ比(百萬ニツキ)	檢擧數	人口トノ比(百萬ニツキ)	檢擧數	人口トノ比(百萬ニツキ)	檢擧數	人口トノ比(百萬ニツキ)
北海道	一三三	八〇、六	六	三、六	四七	二八、四	一八六	一一三、七
東京	二三〇	八一、八	一八	六、四	八五	三〇、二	三三三	一一八、五
京都	五八	四七、四	六二	四九、八	四	三、二	一二三	一〇〇、五
大阪	七八	三五、八	三六	一六、五	四五	二〇、六	一五九	七三、〇
神奈川	五六	四八、九	一九	一六、五	二〇	一七、三	九五	八二、九
兵庫	六五	三一、七	四〇	一九、五	二六	一三、六	一三一	六三、九
長崎	三五	三三、三	一三	一三、〇	四一	三七、八	八九	八二、二
新潟	四〇	二一、三	三四	一八、一	六	三、一	八〇	四二、[illegible]
埼玉	一七	一三、〇	一八	二一、四	一四	一〇、七	五九	四五、二
群馬	一九	一九、二	二六	一六、二	―	―	三五	三五、五
千葉	四八	三五、一	九一	六六、五	一三	一六、〇	一六一	一一七、七
茨城	六〇	四六、五	三	一七、〇	一一	八、五	九三	七二、〇
栃木	一三	三四、四	七	七、〇	七	七、〇	二七	二七、一
奈良	二〇	一三、〇	五六	九六、五	四	六、[illegible]	八〇	一三七、八
三重	二二	三四、四	二八	二五、九	六	五、五	五五	五一、〇
愛知	八四	一九、四	一〇四	五二、九	一三	六、一	二〇〇	一〇一、九
靜岡	五一	四二、八	五二	三五、五	一二	七、五	一二四	七七、九
山梨	一四	三四、八	六八	一一六、一	九	一五、三	九一	一五五、二
滋賀	一七	二三、九	九四	一四〇、〇	―	―	一一一	一六五、三
岐阜	二七	二五、三	三四	三一、九	一〇	九、三	七一	六六、六
長野	五九	二五、三	六九	四七、六	一三	一四、四	一四九	一〇二、八
宮城	三五	四〇、七	二	一三、〇	一二	一三、〇	七七	八四、二
福島	五七	六〇、二	一七	一三、四	一六	一三、六	九〇	七一、三
岩手	二〇	四五、二	一	一、二	四	四、八	二五	三〇、三

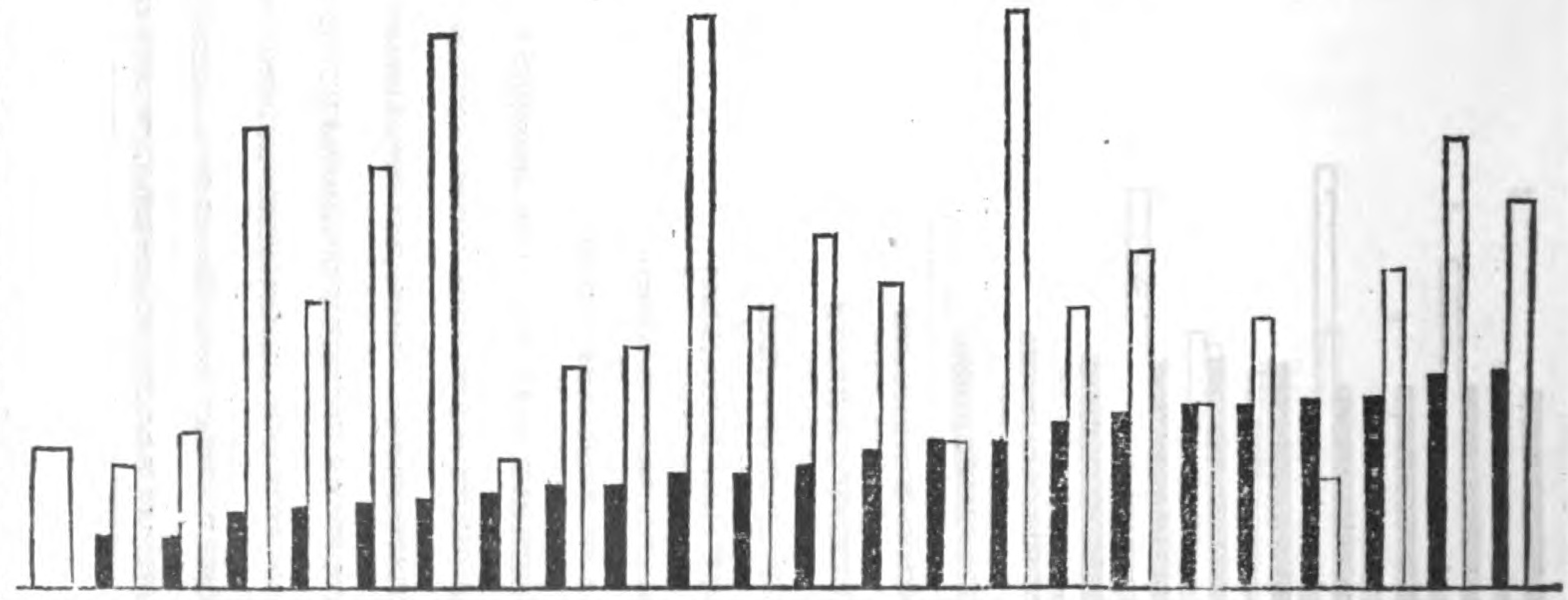
Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

全國の風教狀態 (三)

關係並風俗犯との關係

■ハ無配偶ノ青年千人ニ對スル娼妓ノ割合ヲ示ス

□ハ風俗犯ニテ檢擧セシモノ人口百萬ニ對スル比ヲ示ス



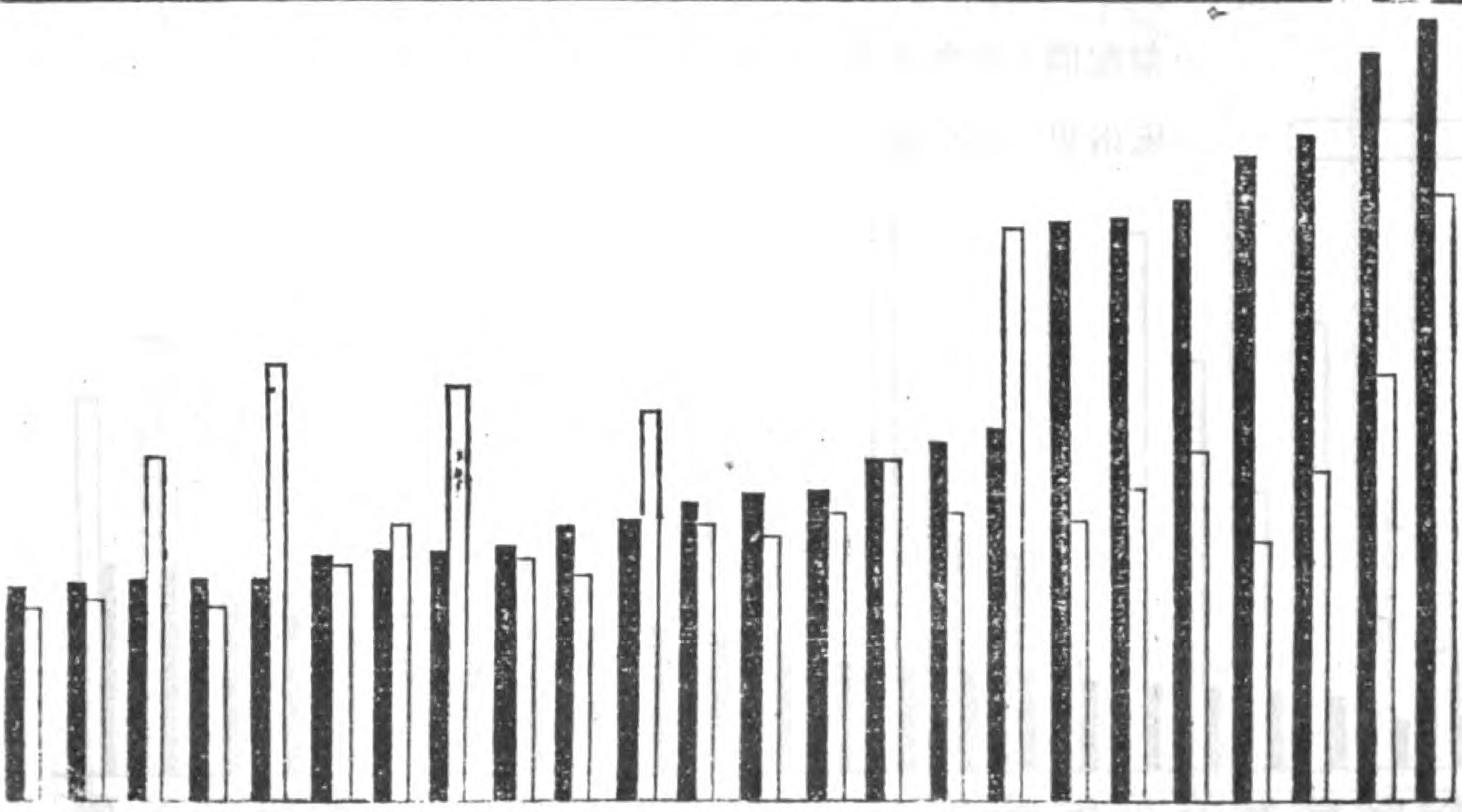
長野	六、三	一五八、五
高知	六、〇	一六四、七
岡山	五、四	一八一、九
石川	五、〇	一九九、一
福島	四、九	二〇〇、一
佐賀	四、九	二〇一、三
宮城	四、六	二一五、一
靜岡	四、三	二三九、二
滋賀	四、〇	二四六、九
巖手	三、七	二六四、三
鳥取	三、四	二九九、四
宮崎	三、三	二九九、五
大分	三、一	三二二、四
山梨	三、〇	三三一、二
秋田	二、七	三五七、五
鹿兒島	二、五	三九七、九
德島	二、一	四五五、三
和歌山	二、一	四七三、〇
千葉	一、九	五二一、一
茨城	一、六	六〇三、二
愛媛	一、四	七〇二、三
埼玉	〇、九	一〇〇八、一
島根	〇、八	一二三六、二
群馬	—	—

青森	二七	三六、一	七	九、三	四	五、三	三八	五〇、八
山形	一七	一七、九	九	九、四	七	七、三	三三	三四、七
秋田	四四	四七、八	九	九、七	七	七、七	六〇	六五、三
福井	八	一三、七	一〇	一五、六	一	一、五	一九	二九、八
石川	一三	一六、六	二	二、五	二	二、五	一七	二一、八
富山	一二	一五、三	三	三、八	六	七、六	二一	二六、七
鳥取	一七	三七、三	三	六、五	一六	三五、一	三六	七九、〇
島根	一八	二三、九	六	七、九	二	二、六	二六	三四、六
岡山	七四	五九、九	三〇	二四、三	二二	九、七	一一六	九三、九
廣島	五二	三一、〇	一八	一一、〇	三六	三二、二	一〇六	六五、二
山口	三九	三六、七	三七	三四、八	七	六、五	八三	七八、二
和歌山	三五	四六、一	八二	一〇八、二	二	二、六	一一九	一五七、〇
德島	二〇	二七、五	二	二、七	—	—	二三	三〇、三
香川	四九	六五、八	一三	一六、一	六	八、〇	六七	九〇、〇
愛媛	七六	六九、五	四六	四二、〇	一九	一七、三	一四一	一三八、九
高知	四三	六二、三	三三	四七、八	二〇	二八、九	九六	一三九、〇
福岡	一〇四	五七、七	六七	三七、〇	六二	三四、二	二三三	一八、九
大分	三四	三七、七	二四	二六、六	一〇	一一、一	六八	七五、五
佐賀	二一	三〇、九	三	四、四	八	一一、七	三三	四七、一
熊本	四三	三三、八	五六	四三、七	三七	二八、九	一三五	一〇五、五
宮崎	三四	五八、〇	三	五、〇	一六	二七、三	五三	九〇、五
鹿兒島	四五	三三、八	—	—	三六	二六、三	八一	五九、一
沖繩	二	三、七	—	—	二	三、七	四	七、五
合計	二、一〇三	三九、七	一、三八七	二六、二	七五〇	一四、一	四二、四〇	八〇、一

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

3－556

風教上より觀たる
無配偶の青年と公娼との關



道府縣別	無配偶ノ青年千人ニ對スル娼妓數	娼妓一人當リ無配偶青年數
大阪	二四、一	四一、四
京都	二三、四	四二、六
長崎	二〇、六	四八、二
神奈川	一九、九	五〇、二
東京	一八、九	五二、八
沖繩	一七、六	五六、五
三重	一七、五	五七、〇
北海道	一一、八	八四、二
廣島	一一、四	八七、四
愛知	一〇、三	九七、七
福井	九、二	一〇八、〇
山形	九、一	一〇九、八
山口	九、〇	一一〇、七
兵庫	八、九	一一二、二
新潟	八、五	一一七、一
福岡	八、一	一二三、二
奈良	七、三	一三五、五
熊本	七、三	一三五、五
栃木	七、一	一四〇、六
香川	六、八	一四六、〇
富山	六、八	一四六、五
岐阜	六、六	一五〇、一
青森	六、五	一五三、五
長野	六、三	一五八、五

	結婚（人口千ニ對シ）	離婚（人口千ニ對シ）	死産（人口千ニ對シ）	乳兒死亡（生産百ニ付）	不就學者（百中）	庶子	私生兒	生産百中私生兒ノ割合
群海道	八、四三	〇、八八	三、四四	一六、六	一、四七	一、二五六	一〇、三三八	一七、〇
東京	七、三二	〇、九七	二、六五	一七、五	二、九八	一、五八九	七、〇六八	一〇、五
京都	七、九四	〇、八四	二、八九	一七、九	一、四八	六七一	四、二九五	一三、二
大阪	七、〇八	〇、八〇	二、六〇	二一、二	四、三三	七六三	一〇、六五九	一八、四
神奈川	七、五一	〇、九一	三、一三	一六、五	一、四二	二四八	二、二四七	七、〇
兵庫	七、九七	〇、九六	二、五四	一五、八	二、〇七	七六二	六、八九九	一一、五
長崎	七、〇六	〇、九八	一、八四	一二、七	二、四四	一五九	二、八三三	九、九
新潟	九、八八	一、七五	二、八七	一七、五	一、〇一	二八四	三、八七八	六、〇
埼玉	八、〇九	〇、九八	四、九五	一六、七	二、〇八	二五五	二、三一一	五、六
群馬	八、〇九	一、一三	四、二二	一五、七	一、二四	四二六	二、六五二	八、七
千葉	七、九四	一、〇五	四、二七	一八、〇	一、八六	三一四	二、六四六	六、七
茨城	七、八三	〇、九三	四、八一	一八、八	一、〇一	二三五	三、〇九二	七、八
栃木	八、五六	一、〇八	四、九一	一五、一	三、三四	一七七	二、〇九六	六、五
奈良	八、五八	〇、九四	三、七四	一七、一	〇、四五	一五一	二、四七〇	一三、五
三重	八、一七	〇、九三	三、〇六	一五、五	〇、五〇	四〇三	二、四二八	七、七
愛知	八、五四	一、〇九	三、〇三	一五、六	五、八一	一、三七三	五、四九四	一〇、〇
靜岡	九、三九	一、四九	三、五八	一三、八	〇、九七	三九四	一、六一二	三、九
山梨	八、四四	〇、九九	三、九三	一二、九	一、二一	一〇四	八七八	五、一
滋賀	九、一一	〇、七七	二、八六	一五、八	二、六四	二八四	一、六一六	八、一
岐阜	九、〇三	一、一〇	三、六〇	一五、五	一、四七	五二三	三、四二一	一〇、三
長野	八、二五	〇、九七	三、七六	一三、六	一、七五	四二六	一、九八一	五、〇
宮城	九、五一	一、三三	三、四三	一七、五	〇、三八	一〇三	二、三七五	七、五
福島	八、九五	一、二七	四、〇二	一五、四	一、三六	一八三	三、一一七	七、六
岩手	九、三二	一、五六	三、九三	一九、九	一、三二	八一	一、六五四	五、七

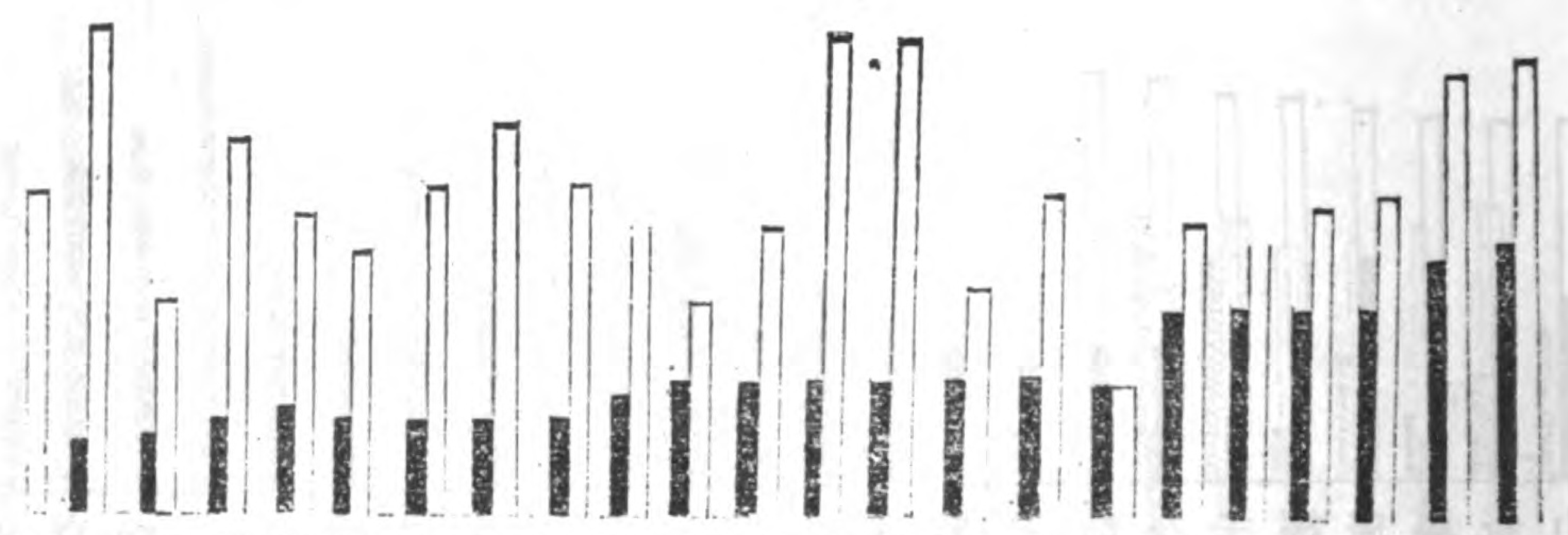
Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

全國の風教狀態 (四)

係並私生兒離婚等の關係

■ ハ無配偶ノ青年千人ニ對スル娼妓ノ數ヲ示ス

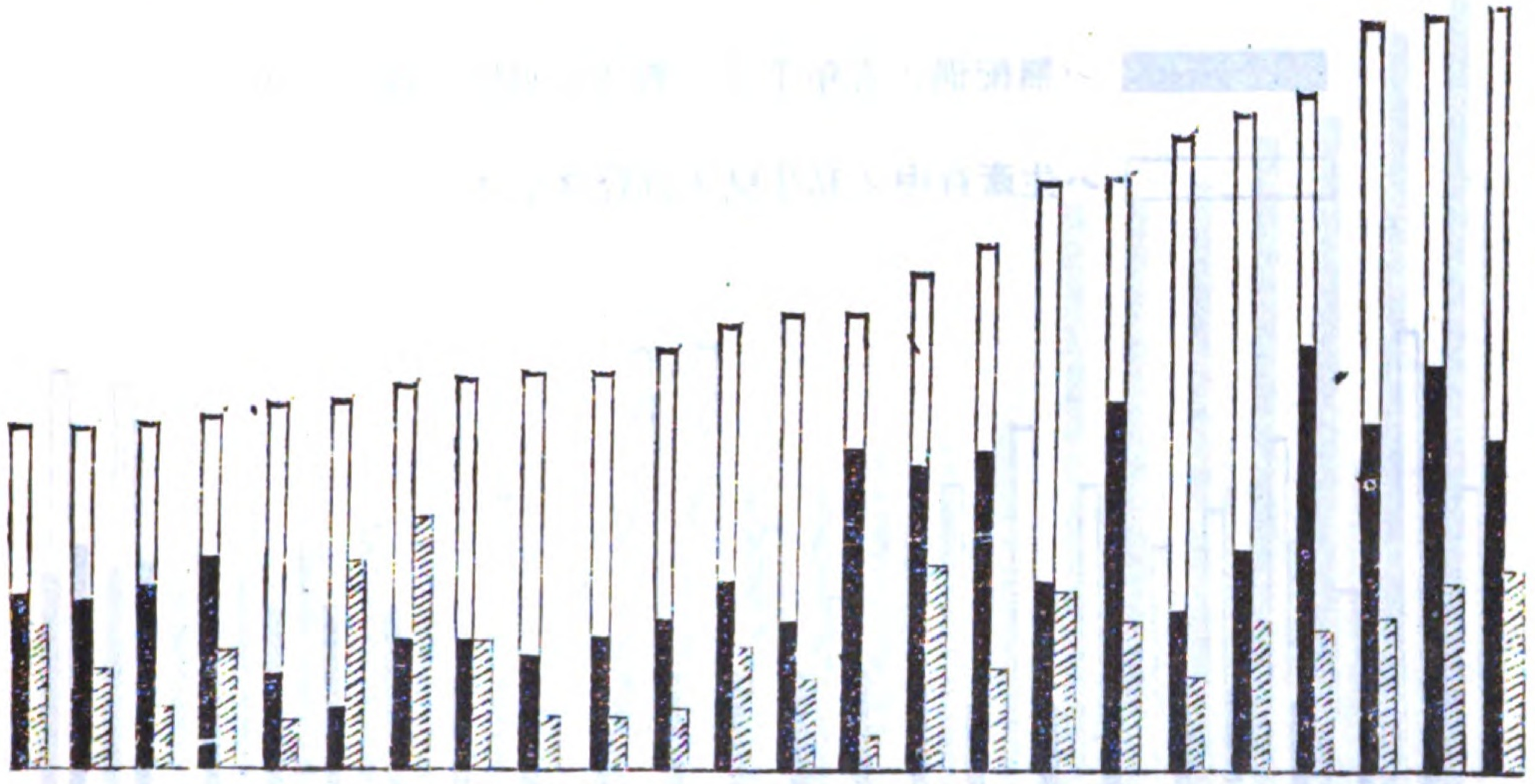
□ ハ生産百中ノ私生兒ノ割合ヲ示ス



高知	六、〇	一六四、七
岡山	五、四	一八一、九
石川	五、〇	一九九、一
福島	四、九	二〇〇、一
佐賀	四、九	二〇一、三
宮城	四、六	二一五、一
靜岡	四、三	二三九、二
滋賀	四、〇	二四六、九
巖手	三、七	二六四、三
鳥取	三、四	二九九、四
宮崎	三、三	二九九、五
大分	三、一	三二二、四
山梨	三、〇	三三二、二
秋田	二、七	三五七、五
鹿兒島	二、五	三九七、九
德島	二、一	四五五、三
和歌山	二、一	四七三、〇
千葉	一、九	五一一、一
茨城	一、六	六〇三、三
愛媛	一、四	七〇二、二
埼玉	〇、九	一〇〇八、一
島根	〇、八	一三三六、三
群馬	―	―

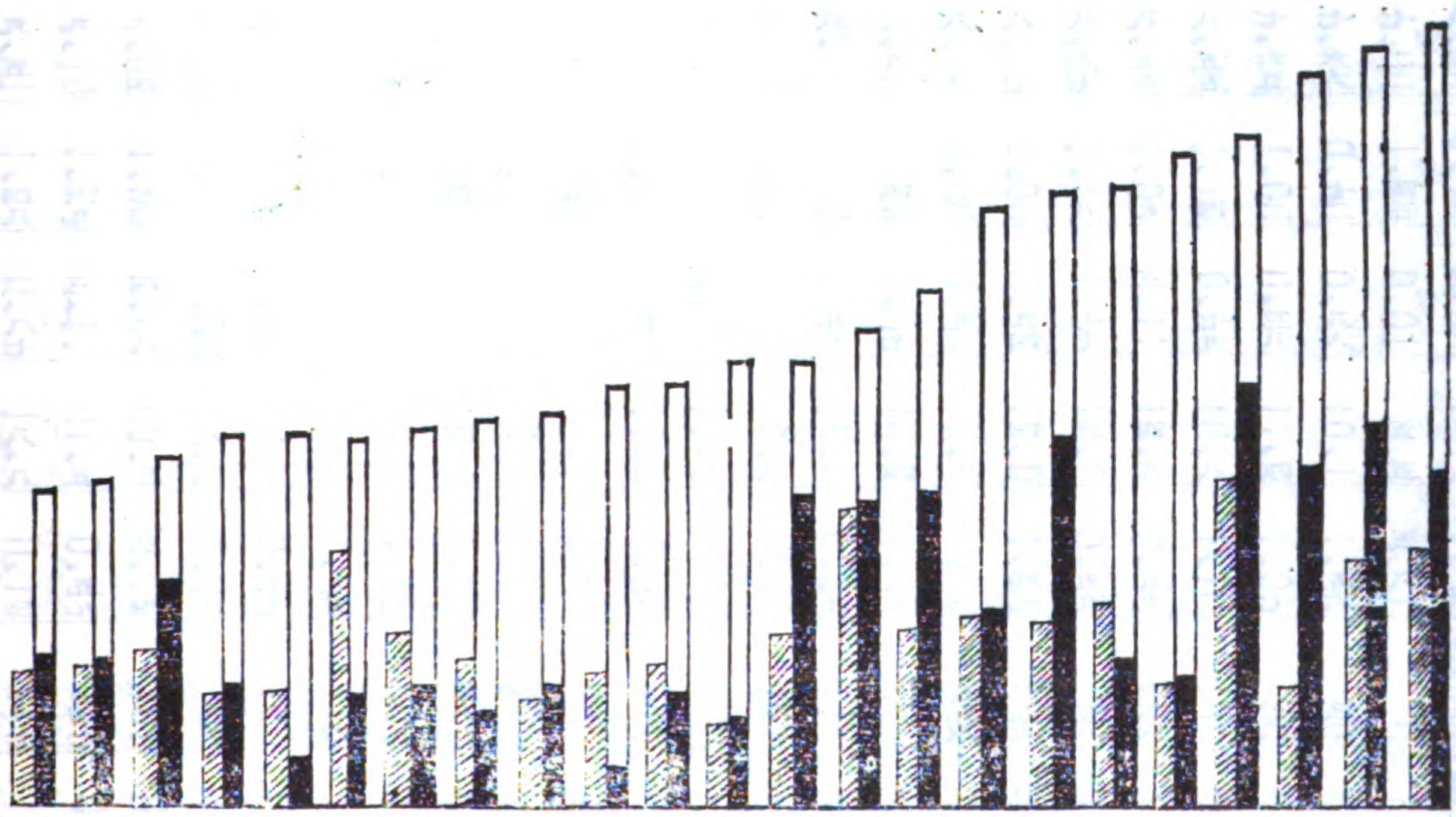
青森	九、五二	一、四八	二、八七	一八、八	二、一三	一三七	一、六八一	五、八
山形	九、一〇	一、四九	三、二一	二一、五	〇、五九	一四七	二、五一六	七、三
秋田	九、〇四	一、七〇	四、二八	二〇、三	三、一四	一〇一	二、〇〇〇	六、三
福井	九、〇九	一、一三	二、七八	一八、三	一、二六	一三〇	一、八四五	八、五
石川	九、二〇	一、一八	二、九七	一八、六	〇、七七	一六二	二、二七一	八、一
富山	九、二五	一、〇九	二、〇九	一七、二	一、九五	一一四	一、五七三	五、五
鳥取	八、三三	一、二七	三、四九	一三、三	一、九〇	一三五	一、五二一	一三、一
島根	八、七二	一、四二	三、一六	一四、一	一、一二	三八四	二、三九四	一三、一
岡山	八、三一	一、〇一	三、〇六	一四、八	〇、三二	四〇一	三、八七一	一一、八
廣島	九、九六	一、五八	二、五四	一三、一	〇、五八	三八二	四、一八九	八、九
山口	八、九三	一、三三	一、五〇	一〇、七	〇、七三	二三九	二、一四二	八、〇
和歌山	八、六三	〇、八七	三、三〇	一一、九	一、〇八	一三二	二、〇七〇	八、九
德島	八、〇七	一、〇二	三、二三	一四、八	五、五二	一四三	二、四八〇	一〇、九
香川	八、一二	一、一〇	二、九七	一六、二	〇、六九	一一九	三、四五〇	一三、八
愛媛	八、五六	一、四六	二、二七	一二、四	一、八七	三二一	三、二五四	一〇、二
高知	八、一九	一、二三	二、五九	一六、二	二、三三	五五四	二、〇八五	一二、五
福岡	八、一七	一、〇二	二、九四	一四、〇	一、四七	二五六	三、七六三	七、一
大分	八、六七	一、一八	一、七七	一三、〇	〇、九九	一五二	一、九三二	七、七
佐賀	八、七九	一、〇九	三、一二	一四、二	〇、五九	一〇六	一、三五一	六、一
熊本	八、五五	一、一四	〇、七九	一三、八	一、一三	一二八	三、〇六〇	八、七
宮崎	七、六五	一、〇二	二、三八	一一、四	一、〇七	七二	二、二五三	一三、二
鹿兒島	七、六六	〇、七二	〇、八六	一〇、一	一、五六	三〇	三、八一九	九、四
沖繩	七、三二	一、四三	〇、〇一	五、五	五、八一	二	一、〇七九	九、八
平均	八、四二	一、一三	三、〇二	一五、八	一、八四	五、五六二	一四四、四九九	九、二

數字上より觀たる
無配偶の青年と公娼私娼と



	[illegible]ノ青年千人ニ對スル[illegible]的	公娼的一人當無配偶ノ青年
東京	四四、八	二三、二
京都	四四、一	二三、六
神奈川	四二、九	二三、二
大阪	三八、九	二五、八
福岡	三七、六	二六、六
兵庫	三六、三	二七、五
長崎	三五、四	二八、二
愛知	三四、三	二九、一
三重	二九、二	三四、二
北海道	二七、四	三五、一
沖繩	二五、八	三八、八
靜岡	二五、八	三九、七
長野	二五、〇	三九、八
茨城	二四、八	四〇、二
富山	二三、五	四四、三
石川	二三、四	四四、五
岐阜	二三、〇	四五、三
奈良	二一、八	四五、七
千葉	二一、〇	四七、四
栃木	二〇、六	四八、五
廣島	一九、八	五〇、三
福井	一九、五	五一、二
新潟	一九、四	五一、七
山口	一九、〇	五、六三

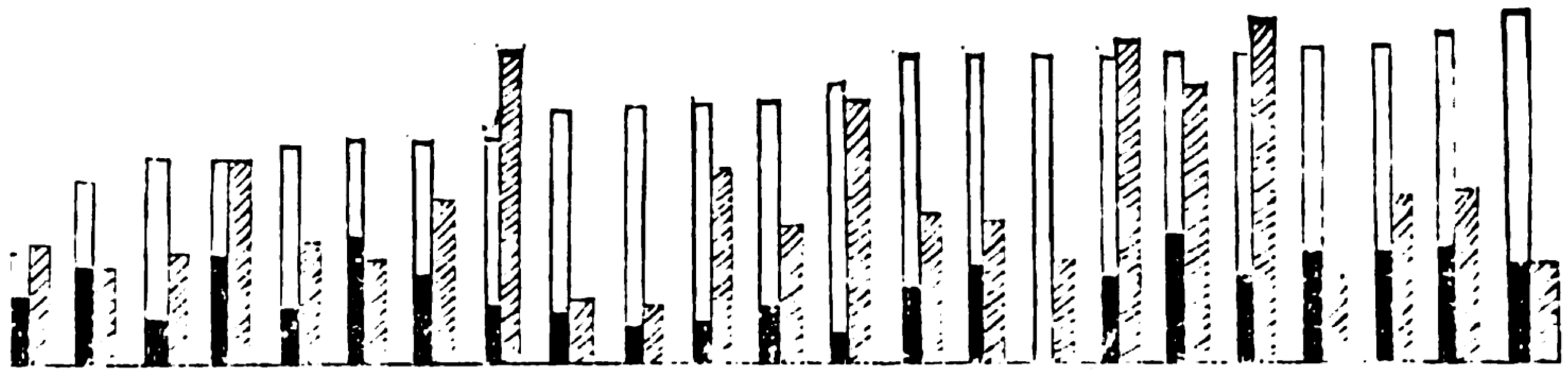
無配偶の青年と公娼私娼と



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の關係竝風俗犯との關係

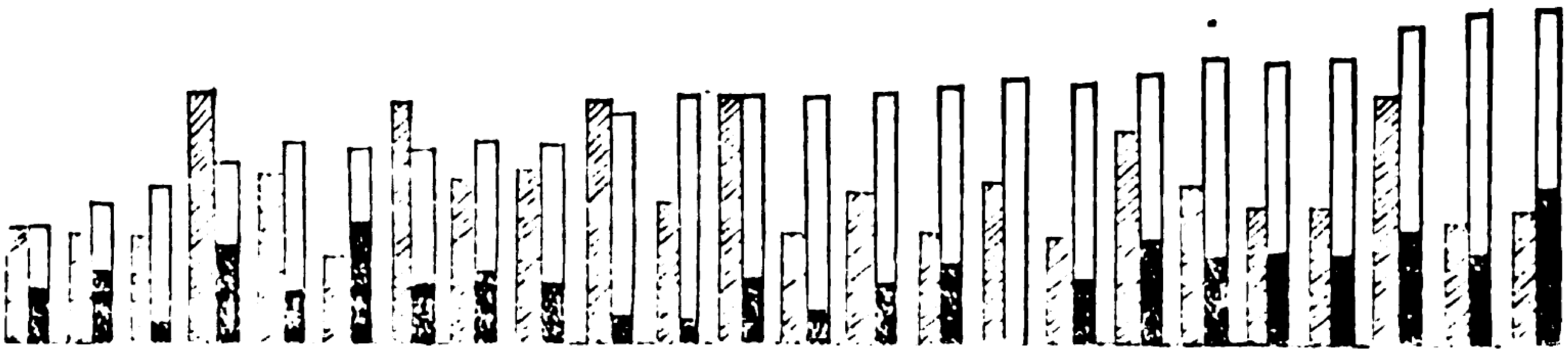
▬ ハ無配偶ノ青年千人ニ對スル公娼ノ數ヲ示ス
▭ ハ無配偶ノ青年千人ニ對スル私娼ノ數ヲ示ス
▨ ハ風俗犯ニテ檢擧セシ者ノ人口百萬ニ對スル比ヲ示ス



秋田	岩手	埼玉	岡山	鹿兒島	青森	宮城	和歌山	徳島	島根	熊本	鳥取	愛媛	大分	福島	群馬	山梨	高知	滋賀	山形	宮城	香川	佐賀
六、一	七、六	九、三	九、七	一〇、六	一〇、九	一一、一	一一、五	一一、九	一三、四	一三、八	一二、九	一三、三	一三、六	一四、三	一四、六	一五、〇	一五、〇	一五、三	一五、六	一五、八	一七、五	一八、四
一六一、三	一三〇、八	一〇七、一	一〇二、二	九四、〇	九一、四	八九、九	八六、八	八三、九	八〇、五	七七、一	七六、九	七五、六	七三、三	六九、七	六八、一	六七、四	六六、四	六五、〇	六四、二	六三、九	五七、〇	五四、九

の關係竝私生兒との關係

▬ ハ無配偶ノ青年千人ニ對スル公娼ノ數ヲ示ス
▭ ハ無配偶ノ青年千人ニ對スル私娼ノ數ヲ示ス
▨ ハ生産百中私生兒ノ割合ヲ示ス



Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

空氣の清淨

早稲田大學教授
廓清會評議員　平沼淑郎

□空氣と人世との關係

抑も空氣は何人も知るが如く酸素と空氣とで出來てゐるのであるが、場所の異なるに從つて其空氣に清濁の差がある。譬へば東京のやうな人家稠密の都會と、人口の稀薄な田舍の空氣とは非常な相違がある。就中高原の空氣は一段と清淨で殆んど比較にならない。我々が現在生活してゐる此都の空氣の如きは實に汚濁極まつてゐる。第一我々の口から吐き出す炭酸瓦斯が多量な上、下水などから發散する處の惡瓦斯が盛んに空氣に混じ、其他樣々の汚物から瓦斯が發生して、此空氣を全く毒氣の含有せられた恐しい汚濁なものにするのである考へ起すだに戰慄を禁じ得ないに引替へ、田舍の空氣は誠に清淨であつて、我々が此都會から田舍あたりに出た時に何ともいふ事の出來ない程すがすがしい心地を感ずる。私は先日も少閑を得て輕井澤と草津との間なる六里ケ原といふ海拔三千七百尺の高原に行つた。此寒空に物ずきと思ふ人もあらうが、即ち之は不素の濁つた空氣から免れて充分清淨なる空氣を吸ひたい爲めであつて、斯くして私は自分の疲れた頭を休め、新しき勇氣を養ふ事が出來るのである。實際我々は時々此の汚濁なる空氣から免れて清淨なる空氣を吸ひに行く事は必要なことである。併し乍ら此空氣は簡單に都會が汚濁で田舍が清淨であると言ふ譯には行かぬ。併し概して云へば田舍の空氣が先づ人間の身體に最も適當と見なければならぬ。

其他空氣の人類に及ぼす影響の偉大なるものあるは諸君の知らるゝ如くである。彼の春先の五月雨の如きは空氣を全く汚濁にし、人心を不快にする許りでなく、此期節に於ては爲めに顏に吹出物さへ出來、我々の精神をして陰欝ならしむる、斯樣に我々人類が生存するに最も密接なるは空氣である。

□社會の汚濁なる空氣

飜つて社會の空氣を見ると實に汚濁極まつて居る。士農工商社會萬般に亘つて混濁の氣に滿ちてゐる、先づ農業界を見渡しても甚だ寒心に堪へぬものがある。現に或る時秋田縣へ參つて聞く處によると、秋田縣では毎年濁酒を密造し、夫が爲め年々百萬圓からの罰金を政府に徴收せられて居るやうな狀態で、勢ひ貧乏するから借金をする、すると期限が來た時に償ふ事が出來ないから、結局土地を取られたり、果ては先祖傳來の家屋屋敷迄も人手に渡つて了うやうな破目に陷る

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

如き、實に前途憂ふ可き現狀だといふ事を聞いた。勿論之は其一例に過ぎぬのであつて、之を以て農業界全體を推す事はいけないとしても、腐敗の空氣が充滿して居るのは事實である。政治界の如きも其類を異にしたのみで、等しく清淨でない事を感ずる。先年議會が解散になつた時、衆議院議員の總選擧が到る處で行はれ、東京抔でも盛んに敵味方の候補者が論戰して、其當選を得んとしたのであつたが、私抔も選擧權を持つてゐる爲めに、毎日幾多の運動員が來た。其内に斯樣な運動員があつて、某氏に對して是非一票をといふので、私も其候補者を適當と認めて之を承諾した。すると其人は懷から承諾書といふ紙片を出して之に印を捺してくれといふ。私は茲に於て非常に侮辱を感じて言下に峻拒した。平沼淑郎は嘘言をつく樣な男ではない。判を取らなければ信用が出來ない位なら御免を蒙る。假しや其麼物に判を捺したとて、いざ投票といふ時に他人を選擧すればそれ迄である。判なんぞよりは僞なき人の然諾が何よりではないかと、滅多に怒つた事のない私も此時は大に怒つたのであつたが、後に至つて聞くと運動員なるものは有權者に承諾書の押捺を乞ひ其の一枚に付き何程かの金を貰ふのださうで、其爲めに必要であるといふ事であつた。斯くして送らるゝ、議會の議員が腐敗してゐるのは當然な譯である。

此點に於ては愚弟(檢事總長平沼騏一郎氏)は飛んだ罪作りをやつたが、之れも社會の廓清の爲めで當事者には誠にお氣の毒であるが止むを得ない。其他敎育界、經濟界、商工業界を通じて溷濁の空氣が充溢してゐる。

□上流と藝妓との關係

廓清會の事業とする藝娼妓の如きは、此社會を汚濁せしめる事頗る夥しいのである。今日社會全般に亘つて惡瓦斯が蔓つて居るといふのも、實は此藝娼妓等の汚濁の元素が存在して而も非常なる勢力を得て、社會に跋扈してゐるからである。何故に藝妓輩が勢力を逞しうしてゐるかといふと、嘗て藝妓亡國論に背いて置いたやうに、藝妓なるものは上流社會の人が弄ぶからで、從つて下流社會の人々がそれを惡い事と思はなくなる。最も怖る可きは上流の人が弄ぶと如何なるものでもそれが雅に見へる事である。何となく雅びて見へる、そして下々の者がそれを羨望するやうになる、所謂上の好む處下之より甚しきものありで、下層社會を毒する事どれ程だか分らぬ。昔支那に、楚王細腰を好んで宮中餓死多しといふ言葉がある、之は楚の王樣が非常に瘠せた女が好きであつた爲め後宮の女が瘠せん事を欲して食を減じ或は斷つたりして瘠せん事を競ひ、餓死する者が多かつたといふのである。又吳王劍客を好んで百姓創瘢多しと云つて、此王は殺伐なる事が好きであつた爲臣民が喧嘩が多かつたといふのである。實に上流といふものは下流を支配す可き力を有つてゐる上流の人は責任を感じなくてはならぬのであるが、我國の現狀を觀ると寧ろ男子として藝妓でも買はなければ恥辱ででもあるかの如うに思はれて居る。藝妓が出ないと宴會が成立たない、日本の宴會に藝妓が侍らない會といふは殆んで絕無といふても良い位で、人を歡待するには無くてならぬものとな

つて居る。

先年私が某地方へ出張した時に或村へ招待された事であつた。然るに其會席が二ヶ所になつてゐるやうな變な配席である。席に着くと案の如く我々の處へ藝妓が來て酌しませうといふ。主人側は向ふの隅に於て各手に手に獨酌でやつてゐる。そこで始めて私は奇妙な配席の理由を悟つたのであるが、我々は藝妓を汚濁極まる者であるとするから却つて不愉快で、歡迎しやうとするのか逐出さうとするのか分らなかつた。如斯は實に亡國の兆でなくして何ぞ。

國民の健康を圖れ

我日本帝國は之を五十年前に比較すると非常なる進歩を示し、外觀が頗る華やかになつた。尤も之等は先年日露戰爭に勝利を得て、それが爲め國民は互に安心し、放縱な生活に流れ、外に備ふるよりも先づ我が身邊を飾り、世は泰平に流れたのであつて、花ならば今が滿開で、香氣馥郁として四邊に其香を放つてゐるけれども、仔細に點檢すると既に其花の蕋には蟲が發生してゐるのである。園藝の經驗のある者は誰でも知る如く、滿開の時には必ず蟲が喰込んでゐる、現時の日本國民が即ちそれで、日露戰爭に勝つた、一等國になつた、天下に敵なしなど丶自惚れて國華燦爛たる時は其蕋が蟲が食込んでゐるのである。希臘の黄金時代にはヘテーレーといふ虫が食込んでゐた。日本の全盛期には藝妓といふ虫が發生してゐる。今にして虫の退治を怠るならば、我等は希臘の轍を履む外はない。我々は眼前に跋扈しつ丶ある汚濁の瓦斯を一掃し、且つ之を平氣で弄ぶが如き男子を排して、空氣の清涼を期したいと思ふ。

然るに世には妙な議論をする者があつて「水清ければ魚棲まずといふ諺がある、さう清く〱云つてゐては大人物は出ないとい」ふ者がある。併し乍ら之は一を知つて二を知らない議論で、清い水に大きな魚が住まないのではない。小さな水には大きな魚が棲めないのであつて、我々の通常清い水といふのは谷川の水か、池堤などを指すので、容器が小さいから大きな魚が生じない。併し乍ら此清い水といふのも實は化學的な言ひ方ではなくて、肉眼的の言ひ方に過ぎないのである。彼の鴨川の水の如きは世間には大變よい水の樣に思はれてゐる。京都に美人の多いのは鴨川の水で磨くからだとさへ云はれてゐるが、專門家に聞くと、鴨川の水は決して奇麗な水ではない。肉眼には奇麗であるが分析すると非常に惡いさうであつて、此水の爲めに人間が奇麗になるといふのは嘘で物理的には奇麗だが化學的には汚いといふ事である、して見ると清い水には大きな魚が住まないなどは、幼稚な考へ方に過ぎぬ、大閤秀吉の如きも之を大陸に生れしめたならばアレキサンドル大王やナポレオンの如き大事業をなしたに相違ない人物であるが、日本に生れた爲めに彼れ丈で終つた。

一體空氣の清淨といふ事は遙かに前から學者間には研究されたのであつて、我國でも彼の藤田東湖などは、其正氣の歌に『天地正大の氣、粹然として神州にあつまる』といふやうな事を云つてゐる。我々はどうか社會の空氣を清淨にして、國民としての健康を圖らなければならぬ。（文責記者にあり）

海外だより

廓清會理事　油谷治郎七

□ウエルハーヴエン孃逝く

那威國に於ける廓清運動の主將イダ、ウエルーハヴエン孃は昨年クリスチヤナに於て病没せりとの報あり、吾等は謹んで哀悼の情を表す。孃の父はクリスチヤナ大學の教授にして名聲世に高き詩人なりき。孃は音樂に秀で語學に長ず、而も其一生の心血を傾注せるは實に婦人の權利の伸暢と社會風紀の廓清にありき。千八百八十二年孃は二三の同志と共に一面には廢娼運動を創めて輿論を喚起し、他面には公德擁護同盟なるものを結んで、沈落せる女性の救濟に當る、其六年間の激戰は全く功を奏して、千八百八十八年クリスチヤナ市の娼制全廢を見るに至れり。孃は唯にノルウエイ國に於て女性解放の先鋒として知らるゝのみならず、スカンデネビア全般にわたりて其勢力を揮ひ、千九百六年丁抹國に於ける廢娼の擧に及せる刺激と援助も少なからざりき。

□獨乙軍人と廓清運動

獨國の軍人間に純潔の精神を鼓吹して家庭に病毒の浸入を豫防せんことを目的として、同國宗教家の組織せるものを「道義奬勵を旨とする福音同盟」とす。公娼廢止と私娼取締を嚴にすべきことを絶叫しつゝあり。「花柳病豫防協會」のブラシユコ博士及びナイセル博士等は熱心に軍人各自をして其豫防衛生法を知らしむるに努め、軍人間に頒布せる小冊子の數已に二百萬以上に出づ、更に國民健康保險委員の協力を得て五百萬冊を各種の男女の團體の間に配布せりと云ふ。同協會は又失業せる婦人の社會的及び經濟的の擁護を促し、酒類販賣の制限を叫び、飲酒場に婦人を使用し若くは婦人の出入するを嚴禁すべしと主張し、且つ酒類販賣時間の短縮を要求せり。

□米國海兵に對する警告

紐育にて新に發行せられたる「社會衞生」の誌上に公にせられたるところによれば、米國海軍卿ダニエルス氏は同國海軍々人に對して花柳病豫防に關して數千言の警告狀を發したり。之によるに同海軍一昨年一年間に於て海兵の花柳病の爲に死せるもの四人、同病の爲に不具となりて解任せられたるもの百三十八人、而して同病の爲に休暇せる日數は實に十四萬千三百七十八日に上ると云ふ、海軍の能力を殺ぐこと察するにたゆ。海軍卿は嚴に令して、第一、教育的手段を以て十分に病毒の恐るべきことゝ其豫防の方法を知らしめ、第二、道義的精神を鼓吹して自制の力を強くし、第三、懲戒的手

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

段として同病の爲に休むものは凡て日割を以て俸給を減ずることゝせり。

□米國婦人參政問題

昨年十月に於ける米國各州撰擧に際し最も世人の注意を惹けるは東部四州の婦人に參政權を與ふべき否やの問題を中心問題として爭へることとなりしが、今其結果を見るにニュージャーシー州は五萬一千餘、ニューヨーク州は十八萬六千餘、マサチユセッツ州は十三萬二千餘、ペンシルベニア州は六萬餘の多數を以て婦人參政權反對派の勝利となりぬ、即ち勝利となれりと雖も非常の激戰なりしは事實なり。

現今州政に關して參政權を有する州はアリゾナ、カリフォルニア、コロラド、アイダホ、イリノイ、カンサス、モンタナ、ネヴアダ、オレゴン、ユタ、ワシントン、ワイオミンの十二州にして悉く皆大平洋に近き西部に屬し、文化の一層進める東部に於ては、未だ一州をも見ず。

一九一六、一、二〇

立體としての人生

文學博士　三宅雄二郎

立體とは即ち長さ、巾厚さ等より出來てゐる處の一つの物體である。人生は亦此三つの方面を有し立體と見る事が出來る。長さは標準が明白で、先づ生物は成育期の五倍丈生きる事が出來るとしてあるから、假りに人間は二十五歳迄が成育期とすると百二十五歳迄は生きる事が出來る譯であるが、併し之は極めて大體であつて、判然した人間の生命の標準とはならぬ。最も長生して有名なトーマスパールは百五十三歳迄生きたといふ事であるけれ共、それは確ではない。懸値があるとしても百歳迄生きた事は稍信せらるゝ、要するに人間はそれ位の長さがあるものである。

斯様に長さは年數によつて計算する事が出來るが、幅となると却々六つケ敷い幅となるには空間に擴がらなければならぬ。最も多くは旅行するが如きも、或程度迄は幅と見る事が出來る、コロンブスが人の未だ知らざる所に行つたなども矢張それである。今地球が盛んに動いて居る從つて地球上の全部が一緒に動いてゐる之も矢張り幅を取つてゐるのである、幅は空間は表はるゝのみでなく、之を土臺にして力が現はるゝ。海を船に乘つて行つても印象は殘るが、道路とか鐵道とかを敷設すれば人の爲した力が空間によりて現はれる。トンネルを堀る事は自然の力に打勝つ譯で、やはり幅である。空間の幅は少くとも、人に印象や影響感化を與へる事もある、之等は幅の廣いものといふのである。

厚さにも種々あつて、決して一重ではない、誰も考へないものはないが厚みはある、あるが極考への單純な人と亦考へ深い人とがある。そこで長さと厚さと幅とあるとして、生命は其立體の容積なのである。

□□□□

トーマス、パールの如きは百五十三歳迄生きて居たといふから、長さは確に長い。けれども幅は僅なものである。亦幅許り廣いものは角力である。角力取りは幅が却々ある。今日は鳳と大錦との相撲があるので國技館は一杯である。全く大したものだ。大臣の名を忘れても横綱の名は忘れぬ。長さからいふと角力取りは四十を越せば駄目だ、僅の間に人々が知るやうになるので巾の廣いものに違ひない。昔から大學者は山に行つた。それは世間に居つては凡てが五月蠅くて考へる事が出來ないから、山に往つて思ふ樣、考へるのである。けれども其麼人は自分獨りでやつて居つて世間は知らない。だからこんな隠者は幅は少い。江村仙齋は百歳迄生きてゐて、加藤清正に百石で抱へられたが、清正が死んでから若狭に歸つた。併し乍ら之といふ目立つた事をしない。自分でもさういつて居る。彼は或人から長生の秘訣を聞かれた時に、何でも少し食へばよいと答へたさうである。けれども百歳に達したからとて餘り有難い筈のものではない。中江藤樹先生は四十一歳で死んだが確に偉かつた。長さや幅は仙齋に及ばない、仙齋は攝津から若狭に移つたのであるから、其空間許りは廣い、藤樹先生は長さや巾に於ては仙齋より劣るが厚さが馬鹿に厚い。江村のたゞ世の中に長く生きたのとは譯が違ふ。藤樹は實に考へる事が深かつた。而して其功は歴史上に於ても著しいものがある。

人は大抵斯樣な譯で長さは壽命で定まるが、幅が狭くて厚さの厚い者がある。陶淵明のやうなのは厚さが深く、此點に於て容積の大きいものとなる。孔子や釋迦や基督となると、其云つた事や爲た事が世界に行渡つて居て實に面積が宏大である。ナポレオンの如きも容積が偉い。彼の壽命は五十三歳であつたが、其間の働きは頗る大なるものがある。尤も深さとなるとクロムウエルに及ばない。彼は力に於てのみ偉い。けれども世界で書物の發行高はナポレオンは二萬である。セークスピーアのものよりも讀まれる事が廣い。セークスピーアはナポレオンより深い。其厚さに於てはゲーテより偉い。ゲーテは幅が馬鹿に廣い、ミルトルになると厚さも巾もあるが深さはない。それは議論になるが要するに長さと巾と深さとを合せた容積を以て、人の大小を計らなくてはならぬ。

□□□□

ところが中には長さも巾も厚さも極めて少なくて而も大にあると同じ事もある。彼の無冠の太夫敦盛は十七歳で死んだ。世に名高い。彼は源平の戰ひに一の谷で熊谷直實の爲めに組伏られて死んだ。事實は單にそれ丈で、敦盛は長さも巾も厚さも何も貧弱極まるが名高い。若し彼が壇の浦の決戰迄生きて、皆と一緒に殺されたら何にもならない。取るに足らぬ人間になつて了つた筈だ。背景にもあつもりといふのがある。有名だ。

小説本にも出てゐる鼯天小僧や鼠小僧などは英雄よりも廣く知られてゐる。之は其人物としてではなく話の引合に出るのである。敦盛の話を佛教で用ひてゐる、畢竟敦盛が十七歳といふ少年の身で、力の強い熊谷と組せひ、出來る丈の力を出して戰つた、その最後を憐む心が人をして奮發せしめ、格言になるのである。鼠小僧や辨天小僧なども矢張り其向ふ處に過ち乍ら最善を盡した事が、長さも巾も厚さもなくて、それが人心を動かすのである。平井權八なども之と同じで、人に何かの益になるものを殘したそれは斯うすれば斯うなるといふ因果律を示したのだ）石川五右衛門はあれ丈の大泥棒であるが、彼にも義理立があつて、人の同情を贏ち得る。

併し乍ら要するに長さ、巾、厚さの集まつたのが容積で、人物の大小は茲に定まるのであるから、長さは壽命で引延ばす事は出來ないが、幅と厚さに於て我々は偉なるものとなる事を心掛けねばならぬ。

日向きむ子著
■銀と藍
定價金八十五錢
丁未出版社發行
本書は女史が從來新聞雜誌等に寄せられたる文章詩歌を纂輯し新に筆を執りたる幾篇を加へられたもので、女史が一代の美人たる處から、つい虛榮の權化でもあるかのやうに誤解してゐた者の正に慚死すべき、眞摯にして敬虔なる女史の眞面目が躍如たるものであり、優麗なる才筆と、深刻なる觀察とは豫先の好讀物である。
（本會員に限り特に二割引）

陸軍と風紀

陸軍省衞生課長
醫學博士　山田弘倫

陸軍に於ける花柳病は、明治四十一年から、大正元年迄の統計に於ては、著しく下り坂になつて殆んど世界で一等の獨逸の壘を摩する好成績を示してゐる。其後の統計は未だ充分に調べてゐないが、惡くなつてゐる筈はないと思ふ。一體斯ういふ種類の統計は、一年や二年では何にもならない、先づ五ケ年位の統計を取つて見ないと分らないから、後三年間の統計が出來る迄は、別段委しい調査もしないでゐる。

公娼制度に對しては、私は衞生上の施設が他の方法で適當に行はれさへすれば其廢止は無論贊成である。今日の檢梅なるものは廓清會で說く程無効ではないと思ふ。公娼と私娼の有毒比例は、世界萬國を通じて私娼の方が多いのであつて此事實はどうしても取消す事は出來ない。我々衞生上の任務を有する者の立場としては公娼私娼と云はず要するに衞生上の施設の完全なのを取るより外はない故に貴會に於ても、私娼に對しての此方面に充分の監視を行はれるやうにされるなら、我々は何を苦しんで公娼制度の樣な賣淫公認に左袒する必要があらう。

昨日は警視廳の栗本衞生部長と逢つたが、同君は、淺草其他の私娼に持て餘し散娼制度を布くより外はなからうといふ意見で、斯ういふ案を作つて居られた。それは一定の場所を限つて住はせる事、鑑札を與へて檢梅をする事、税金を取る事等で、當然起るべき吉原側の大反對に對しては仕方がないから、税金を下げてやる樣にするといふので意見を徵された。

實際今日の風紀の頽廢は實に甚しく藝妓と云へば體裁がいゝが實際は女郞である。先達ても或人が濱町の待合に行つたら、出て來た女は意外にも一面識のある看護婦であつた、女は驚いて逃げ出し男は面白がつて呼戾すといふ騷ぎをしたさうであるが、現に立派な職業を有し乍ら蔭では賣淫をしてゐるのである。彼の東京驛上にはホテルが出來たが、あれは西洋室で一室々々には鍵をかけ、日本作りと違つて話が外部へ洩れないから、黑人は待合よりは却つて此處を選ぶやうになつたといふ噂さへある。

先年萬國廢娼同盟會のグレゴリー氏が貴會の役員と共に私を訪問せられた、自分に語られたのは、英國の軍隊では公娼の廢止と共に、兵隊を一日非常に運動させ疲れ果てゝ眠る樣にした。之が爲め殆んど性欲の事など思ふ間隙がなく、成績が好良であるといふ事であつた。之は私一個の經驗から云つても實際で、柔道や擊劍に一生懸命になつてゐる時は、そんな汚い考などは起るものではない(例外はあるが)だからなるべく青年にはそんな衝動の起る餘裕間隙のないやうな充實した生活をするやうにさせたい。(談)

阿彌陀如來は馬鹿に非ず

廓清會評議員　高島米峰

『廓清』の一月號に、僕が、廓清會でやつた演說、『男尊女卑と女强男弱』の大要の筆記が、揭載されて居る。其中に、『然るに、阿彌陀如來といふ馬鹿が出て、四十八通りの願を立てた、其三十八番の願に「女が死ンだ時には、男性に轉じて、佛になれるやうにしてやる。」といふところがある。これには少々驚いて了つた。

　釋迦といふ大馬鹿ものが世に出でゝ
　　多くの人を迷はするかな

といふやうな、悟徹の境地から、釋迦何人ぞ我何人ぞと、喝破するのは聞えて居るが、淨土眞宗の如き、彌陀一佛の悲願にすがりて、往生の一大事を決定するといふ宗旨の上から、どうして、この大慈大悲の阿彌陀如來を、馬鹿だなどゝ言ふことが出來やう。勿論、僕は、淨土眞宗の信仰を信仰として居るものではない、從つて、阿彌陀如來の願力にすがり、未來に於て、極樂淨土へ往生しやうとは思つて居ない。しかし、苟も佛教徒が、佛に對して、殊に、他の信仰の對象に對して、これを惡罵し去るといふが如き不謹愼は、野人、僕の如きも、斷じて爲し得ざるところである。

殊に阿彌陀とは、無量光（Amitabha）無量壽（Amitayus）を意味する梵語であつて、無量光とは光明の無量なること、無量壽とは、壽命の無量なることである。近來何かと言へば、「萬歲」を叫ぶが、萬歲は單に壽命の無量を祝する言葉であつて、光明の方は含まれて居ない。聖壽の無窮を祝するにも、國運の隆盛を慶するにも、個人の將來を賀するにも、光明無量と壽命無量とを兩全せる、「阿彌陀」といふ言葉の方が、「萬歲」といふ、壽命無量のみの言葉に比して、遙に勝つて居ることを思はざるを得ない。この光明無量壽命無量の佛、即ち阿彌陀如來を、馬鹿だなどゝいふものがあれば、縱令へ信仰の立場が違つて居るとしても、僕が相手だ、そこ動くな。

尤も、あの晩の演說會には、吉原のお雇ひ野次が、澤山來て居たとかで、中でも、僕は、最も猛烈に野次られ、時々、立往生を餘儀なくせられた位であつたから、從つて、野次と聽衆との間にも、時々、「默れ」「馬鹿」「引き出せ」などゝいふ言葉が、交換されたこともあつた。今から思ふと、その「馬鹿」が、速記者の耳に僕の聲として聽き取られ、そのまゝ「阿彌陀如來といふ馬鹿が」となつたのであるまいか、と想像されないでもない。

次に辯じて置かねばならぬのは、「三十八番の願」といふことである。これは誤植とも言へないことはないが、誤植だとすれば、頗る心持の惡い誤植である。阿彌陀如來の四十八願中、女人成佛の願は、その第三十五の願である位の事は、苟も眞宗の說教を聽聞した程のものならば、縱令へ、一文不知の尼入道でも、心得て居る筈である。即ち『大無量壽經』の本文は

設我得佛。十方無量。不可思議。諸佛

世界。其有女人。聞我名字。歡喜信樂發菩提心。厭惡女身。壽終之后。復爲女像。不取正覺。

(設ひ我れ佛を得たらむに、十方無量、不可思議の諸物世界に、其れ女人ありて、我が名字を聞きて、歡喜信樂し、菩提心を發して、女身を厭惡せむ、壽終りて後、復、女像とならば、正覺をとらじ。)

であつて、この三十五の願の意を、親鸞上人は『淨土和讃』に於て、

彌陀の大悲ふかければ
佛智の不思議をあらはして
變成男子の願をたて
女人成佛ちかひたり

と讃歎せられて居るのである。第三十八の願ではない、第三十五の願であるといふことは、これを諒として貰ひたい。

凡そ、他人の演説及び談話を、筆記し速記するといふことは、難中の難事であつて、殊に、僕のやうに、話の下手の話を書き取つて、一篇の文に纏めて呉れられるといふことは、その速記者筆記者の勞苦の多大なるを、感謝せざるを得ないと同時に、又、間々、話を違へ聴き違へのために、意表の滑稽、慮外の迷惑を表すことも、無いではない。今回のことこれを速記者の罪に歸しやうといふのではない、僕の不行屆きを、談者に拜謝したいのである。(大正五年一月三日)

謹んで高島先生並に讀者諸君に粗忽を深謝す。(筆記者横山栖雲)

□津田梅子氏より

貴會益々御隆盛にて誠に御目出度奉存候。社會人道の爲め一層の御盡力奉願上候。私共に所感を申上ぐる樣御下命に候處、近來切實に感ずる處の事は、男子學生品性上の廓淸を計る事の最も急なる事と存候間、何卒貴會先鋒となられ、大々的運動を開始せらるゝやう願上候。此儀に就ては何れ拜眉の上委細開陳申上度存居候

□佐々木梅治氏より

大正五年は御大典後の第一年でありますから、凡ての方面に覺醒を要する事であらうと思ひます。貴會の標語は『純潔』であるから、之を社會の各方面にあてはめたいと思ひます。殊に家庭の純潔の爲めに御活動を願ひたいのであります。

シユライエルマツフエルの婦人十誡

汝は一人の戀人の外、戀人を持つ可からす、汝は汝の友人と交る上に媚を賣り、其の歡心を買はんとするべからず。

汝は汝自らの影象に從ひ、又は他人の影象に從つて、汝自らに何等の理想をも創造すべからず、汝は汝の夫をたとへ夫が如何なる性質の人たりとも又は如何なる職業の人たりとも、夫その人のために愛せざるべからず、何となれば自然は一個嚴格なる復讐者にして、處女の空虛なるロマンチシズムは、成長せる女の情緒の、第三期乃至第四期に於て必ずこれを罰すべければなり。

汝は汝の戀愛の神聖を汚すべからず、何人にまれいかなる事にもせよ、利益のために自己を犧牲にするのは、たとへ陂たるべき法律の權利なる場合に於てすら、感情の純雅を失ふものなることを忘るべからず。

汝はやがて破られざるを得ざる如き結婚を約束すべからず。

汝は汝自ら同一の程度の愛を注ぎ得ざる男より愛せらるゝことを願ふべからず。

汝は現今の野蠻なる風習に、華麗なる外飾を施しつゝその言行に於て虛僞の證明をなすべからず。

汝は敎育と藝術と、智慧と名譽とを求めざるべからず。

――エレンケイ戀愛と道德から――

廓清春秋

北洲

△石も亦叫ばずや

風雨雷電は天の廓清也。水火罹災は地の廓清也、野に叫べる天來の聲なくんば人の「廓清」を如何。

蠢々たるもの、半獸の生活、全獸の横行、爪牙を戰場に磨かすとも、苦節を廟堂に賣らずとは、賣文は日紙を汚し、劣士も修養談を敢てし、不貞は靈肉を蹂躙して憚らざる、汚風惡俗の家庭と社會を浸すこと、それ、幾何ぞ、かくて叫ぶ可きの聲なくんば、石も亦叫ばずや。

沈默は金也。已むに已まれぬ絕叫はダイヤ也。廓清春秋の已む可らざる、既に五回の大正も、徒に名目の大正に過ぎざりしがため也。

△先づ里程表を開け

健全なる國民は健全なる國家を作る。縱に、向上の一路を猛進し、横に、民族發展の局面を展開す、二千六百年來、潛在勢力の國民的肉魂には、健全の血溢る。

健全なる程度は、則ち又た强敵の程度なる惡德の黴菌にして、黴菌征伐は神子神國に到るの里程表也。桃太郎ならずとも、人間到る所鬼ケ島あり。

△爆彈か消防か

何の爆裂乎。情慾の爆彈。煩惱の怪火。財を燒くか、身を焦すか、人を葬るの火か。白き首、長き袖、媚を賣るの眼も亦放火犯ならずや。隣より隣に、待合、料亭、貸座敷、これ亦火元ならずや。絃歌亂舞の聲は、慘として之れ延燒葬の悲音ならずや。

嘗て、文學を燒き、歷史を燒き、天草女を燒送りし焦土に「此處賣淫國」の建札は、頓て又新芽をも灰化せんとす。起て靑年、帝國唯一の消防者。ポンプと鳶口を手にして。

消防、消防は固より大事也。去れど自己爆彈の處置に至つては更に大事也。

△花！　寒！

淸貧高潔の梅花に、努力の痕あり。黃金を笠の福壽草に、奮鬪の根據あり。一小盆栽も亦社會大ならずや。

貧の發憤は、智を生み、力を生み、子を生み。富の威力は、物を生み、榮華を生み、男爵を生む、生むもの一ならず、益するものも一ならざる也。

貧富一如、寒天寒地は悠々。

△人は澤庵のみにて生けるものに非ず

樽詰の教室、古今人の糟粕、點數、先輩の壓迫、今の學校教育は澤庵の教育也。

滿員電車のブラサガリ道中、就職、結婚、生活難の重荷、來客、時間、宴會責めの底には、黃金臭の紛々たる、現代人生も亦澤庵生活也。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

去れど、人は深庵のみに生けるものに非ず。現在に超絶して、靈的深呼吸の飛行味を味ふに非ずんば、如何にしてか撓まざるの弾力、汚れざるの人格を養ひ得んや。然らずして徒らに、社會中毒、人格の磨滅にのみ從事せば。何時か、墓石を負ふて棺詰となるの夜、四角味の新死命にも接することならん。

三面評論

慎默生

□自由思想の均霑

自由思想の發達は奴隷の解放となり、人格の宣言となつて立憲法治主義の世となつた、近世文明の最大の恩澤は此の自由の賜にして國家の最高の目的とする處は各々之れに均霑せしむるにあり。然るに現今の娼妓は事實に於て昔の奴隷である、彼等の内情に立入つて見る時に思ひ半に過ぐるものがある、稼ぎが稼ぎ故にあまり世間の同情を惹かないが、幾多の悲慘に泣くものありとするも彼等娼妓ほどの悲慘なものはない、然るに彼等を同情して救濟せんとする志士天下に幾人ありや、彼等のため自由廢業の手助けとなつて働きつゝある救世軍ありと雖も、此の人道戰に參加するの勇士の少數なるを如何せん。純潔を標榜する廓清會も理想を代表するの機關によつて會の消長も人道戰の勝敗もこゝから初まるのである

彼等暗い悲慘な境遇の浮目に呪はれつゝある婦女子を救ひ出すは我等世の先覺者の義務にはあらざるか、一度此の暗黒なる別天地に身を落し入れなば大抵十年は泥足を洗ふによしなく一定の期間は殆ど娑婆の空氣も吸ふ事も出來ない。一生の活動期を棒にふるのである、全國に五萬二千九十七人の娼妓が日夜冷酷なる樓主に膏血を絞られつゝ男子に嬲られ苦しみつゝあると云ふ事は何たる悲慘な事であらう。而も此の悲慘事が我等同志の双肩に救濟すべく荷はせられつゝあるのである、今や自由を絶叫するの聲其の極に達しつゝある近代文明は、此の虐げられつゝある婦女子を如何にせんとするか、あゝ悲慘なる奴隷制度よ？

□戰爭と墮胎

東京日々紙が報ずる處によれば露國の戰爭前の犯罪事故としては窃盜、掏摸、强盜、强姦と云ふ具合になつてゐた。殺人其他の犯罪の原因は重に泥醉から行はれ露國人は世界一の泥醉民族である、所が戰爭開始後禁酒法案が發布せられ國民一般謹慎するようになつた爲め犯罪が餘程少なくなつたそうである、其代りに姦通と墮胎が非常に增加し戰爭前總出產數の百分の一か二位の墮胎が、現今驚く可し百分の四十より四十五の高率を示してゐるのである。

最も其の墮胎の百分の四十の内百分の十は、波蘭から本國へ逃げて來た避難民で、大抵獨逸國の種を宿して居るとの事だ。獨逸國と云ふ敵愾心から異鄕に流寓

してどうする事も出來ぬと云ふ當惑心から、暗から暗へ胎兒を葬むるのもあらう。が、縱へ正しい露西亞種であつても亭主の留守の出産は變なものであると云ふ境遇から來るものの餘程手傳つてゐるからである。

玆に不思議な事は千九百一年以來男兒は女兒の出産が多かつた、戰爭開始後は女兒より男兒の出産率が多い、仍で當局は戰爭開始後の男兒の出産率多いのは天命の加護であつて、スヴラ民族に對する天の恩寵で、更に禁酒奬勵の結果だと布告されたそうだ戰爭？曰く……慘害なり、曰く……不生産的なりあゝセルヴィアの一學生の行爲は政治的重大な陰謀となり、墺塞の斷絶は全世界の人類を血生臭くして遂に墮胎率の增加歷史を數字上に見るに至る事は、當世期人類の不見識でなくてなんであらう、平和の主唱者何處にありや、カーネギの平和殿は僞善殿と化せりあゝ……父よ此の罪を彼等に負しむる勿れとたれが祈る、御國を來たらしめ玉へと何人が祈る、あゝ濶なるかな野に叫べる人の聲、曰く？悔改めよ？此天來の聲に耳をかたむくものはたれぞ!!

□船醫の暴行事件

商船會社所有パナマ丸の船醫某が昨年の三月米國の夫の處に行かうとする女を暴力で節操を汚したので夫は會社を相手に取りて報償を求めたが、會社はこれに應じないために業を煮して去年六月シヤトルで船長を拳銃で狙擊したために二百五十弗の罰金に處せられた、或る人々が仲介に入りて出張員と相談の上相當の慰藉料を送る事となつて内相談濟みとなつてゐたが、本社の方ではそれを應じないそれのみか會社は冷淡にも一片の挨拶をした切り何等の處置も取らなかつた。そこで夫は最近辯護士パリンジャー氏を代理人として五萬弗(十萬圓)損害賠償を米國法廷に持したと云ふ事を新聞紙が報じた。

法律上の是非は暫く措いて、なぜこんな汚れた醜事件を、異邦の法廷に晒け出して爭鬪を試みよふとすのであらうか、道義性の欠陷は止むない事情を生み出したとしても事件が事件丈外國で扱はれる丈け其の結果の及ぼす範圍の擴大を恐れる、此の場合安部教授の唱へられる下水論を應用したい。

パリンジャー辯護士は負けたら辯護料を取らぬ但し途中で取下は許さぬと云ふ契約であるそうだ、辯護士も胸算もあらうが、同辯護士は華盛頓洲法の記草者でタフト大統領時代内務卿として鳴らした人である。米國の陪審官の大部分は婦人である、婦人の問題となると何時も男子の不利益となる傾きがある結果は一寸分らぬが外國法廷で邦人の醜行が爭はれるとは、何たる愚か……

□生きた人格試驗の落第

全國新聞紙はモルガン未亡人の歸國で賑かした、世間の噂の的となつてゐた一寡婦が、黃金のために身も心も捧げた藝者上りが歸つて來るになぜ大袈裟に騷ぎたてるのであらうか、百萬圓に近い遺産の分配を受けた最近の事實が世人の好奇心を唆つたのであらう、四萬圓の藝者の一賤婦が今は百萬圓の未亡人となつたので一種の興味も起らうが、見方も種々だ戀を棄て身も棄た報酬として百萬圓の大金を贏得た事が果して幸福な事であらうか、單に百萬圓と云ふことに羨望の眼を光らしてそれを成功者として垂涎してゐると云ふ事は現代實世相の如何に淺薄なるかを思はせる。實に人間の奥底の淺濶しさ、それを賑しく書きたてる新聞道德の不見識さ？羨望を嘲けるより寧ろ斯くの如きものを羨望する人心の機微を哀しむのである我等は此の實世相を見るにつけ貞操の觀念と高潔なる道義的精神の乏しきに悲しまざるを得ぬ。

□愉快なる自由廢業

橫濱貿易新報の報ずる處によれば平塚の大磯廓の娼妓千龍は逃亡所在不明の所、去る十一日東京より書留郵便で所轄署に廢業屆出たるにより、警察は本人自發の意志によりて屆出たるや否を本所警察に照會し相當の理由あるものと認められ娼妓名簿を削除せられた。

書面にても廢業を許すといふ事は我等の常に求めて止まなかつた處であつたのに今や大磯警察によりてレコードが破れ、自由が確保せられた事は眞に近來になき快事である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

最近の廓清運動

白萩生

□横濱支部の發會

一月十七日午後六時、指路教會に於て横濱支部の發會式が行はれた。支部設立の報が全市に傳はるや開會三日前から非常な人氣であつたから、當夜はさしもに廣き會堂が忽ちにして滿員となり、入場を謝絶するの止むなきに至つた。

會は第一部第二部に分れ、第一部に於て先づ座長の推選をなし、禁酒會長の林翁氏を假委員長に擧げ、矯風會長の二宮わか子氏、同會の城戶順子氏、メソヂスト教會牧師平田平三氏、組合教會牧師平田義道氏、海岸教會牧師笹倉彌吉氏、指路教會牧師毛利官治氏の支部創立委員を非價委員に推薦し、二月第二の月曜を以て、會則其他具體的の案を議する事とし、第二部講演會に移る、笹倉彌吉氏司會にて午後七時急霰の如き拍手の裡に開會、笹倉氏は支部設立の經過を報告し、廓清會が今日迄横濱市に起らなかつたのは遺憾であつて、大に起つて社會と人生の爲めに貢献しなければならぬと述べ、塚原茂子女史の巧妙なるピアノの獨奏に次で、各代表者交々登壇して祝辭を述べらる、即ち

横濱禁酒會總代　林　翁

今回、此横濱に廓清會支部が設置されたに就き、今晩其發會式を行ふに當つて、私は非常に喜ぶ者である。一體我々は禁酒會に其身を置いて居つて、狂ひ水と稱せらるゝ處の酒を呑む事を絕體に自發的に禁せしめ、以て幾分なりとも社會の廓清を期し度い考へなのである。故に其運動こそ異なれ、向ふ處の標的は同一であるから、我々も共に此事業の爲めに大に努力し着々と其効を奏せん事を冀ふものである。茲に廓清會支部設置を感謝し、一言述べて祝辭と爲す次第である。

横濱婦人矯風會總代　二宮わか子

今度、此横濱に廓清會支部が出來まして、今晩は其發會式の擧行せらるゝに當り、如斯、盛大なる發會式を見る事が出來たのは寔に喜ぶ可き事と存じます。抑も此廓清會の事業といふものは、皆さんも御承知の通り、專ら社會風敎の廓清を促すを以て主眼とする處のものでありまして、其範圍等も實に廣いのであります。横濱の現狀を見ますに、大に廓清を促さなければならない事が、決して尠くないのであります。元來此横濱は日本國の關門で、外國人等が來た場合には、先づ玆に上陸する。恰ど一家に於ける玄關と同じやうな場所なのであります。處が此玄關が、寔に不潔でありますなれば誰しも沓に不愉快を感ずる許りでなく、其一家の狀態を略々窺ひ知る事が出來るのであります。故に私達は婦人の務めである處の、玄關の掃除を遣らなければなりませぬが、亦御亭主たる男子も協力して、お互に掃除をするが、今日横濱市の爲めにも、且亦私共の爲めにも甚だ必要な事と考へますが故に、何卒皆さんも其お考へを持つて不潔なものを取除き、以て廓清の目的を達せしめん事を切に希ふ次第であります。之を以つて祝辭と致します。

横濱教役者總代　三浦金吉

今晩、廓清會横濱支部發會式を擧行せらるゝに際し、私は如斯盛會なる事を最も喜ぶものである、而して此廓清會の事業たるや、一朝一夕に其効を奏する事は甚だ六ツ敷い次第ではあるけれども、先づ第一に我等個人々々の心から相互に廓清し合つたならば、其結果清らかな社會を形造る事が能ると信ずるものである。如何にしても我々は、此日本國をして萬國に對し誇る可き國柄とならねば、實に我々の恥辱とする處であるから、諸君は意を玆に用ひ、而して自分自らも廓清し、且又、他人にも大に勸めて、お互に社會風敎をして善良ならしむる覺悟が肝要と思ひます。一言以て祝辭とする。

ついで神奈川縣知事有吉忠一氏は、深く本會支部の發會を祝し、態々其代理として視學關靖氏を差遣せられた。即ち同氏は起つて左の知事の祝文を朗讀せらる。

廓清會は夙に公娼の廢娼を主張し且つ之れが實行を期せんとするものの如し

抑公娼制度の存在は社會風敎の上より將た一國體面の上より觀察して其の甚だ好ましからざるとなるは固より論なしと雖、而も之れが存否は單に一片の道德論のみを以て決すべきに非ず、社會が公娼の存在を必要とせざる狀態に至らんことは最希望する所なるも、而も其狀態に至らずして直に之れを廢止するときは別に之に代るべきものゝ發生するは勢の免れざる所なり。果して然らば之に代るべきものと公娼制度との利害得失更に一層の硏究を進むるにあらざれば未だ遽に之れが斷定を許さゞるものあり。此の理由より廓淸會の主張は甚だ首肯すべきことなりと雖而も急速に之が實行を期せんとするは大に考慮すべきことに屬す。冀くば廓淸會の會員諸君は深く風敎の根底を廓淸するに努め、社會をして自然に公娼の必要なきに至らしむる樣努力せんことを望む。

大正五年一月十七日

神奈川縣知事　有吉忠一

續いて篠田氏は本會各支部より寄せられたる左の祝電を朗讀せられた。

發會成功を祈る　婦人矯風會長矢島楫子

貴部の發會式を祝す　廓淸會神戸支部

神の惠み豐かなれ　廓淸會京都支部

嬉しき今日の御誕生　廓淸會大阪支部

御支部の發會を祝し尙御奮闘を祈る　廓淸會群馬支部

更に會長の祝文あり即ち

風敎の頽廢は國家衰亡の象徵にして、道德の興隆は即ち社會繁榮の內相也。

熟々我國の現狀を觀るに、男女道德の紊亂甚しく人倫の大本廢れて道義地を拂ひ、實業家は譎詐を事とし、政治家は機略を事とし一切の科學藝術は眞摯の氣分を失ひ、淫風滔々相率ゐて國運を衰頽に導かむとしつゝあるに似たり。歎かざらむとするも得べけけんや。

顧つて歐洲の大戰亂を察するに截然として文明史上に一轉期を劃し、浡然として國家的覺醒の大機運の勃興しつゝあるを看取す可し。若し夫れ大正新日本の國民が晏如として此大潮流に掉す事をなさずんば前途知る可きのみ。然らば共吾人が勇躍一番、富强を致し産業の革新を講ずる前、先づ奮然蹶起して天下に呼號すべきもののあるを知らざる可からず。蓋し道德の興隆風紀の振作を企圖するは社會の基礎を確立する所以にして、如斯にして始めて眞實なる藝術あり、眞實なる實業あり、眞實なる政治あり、眞實なる發展と幸福とあらむ。而も之れ眉を焦くの急務にあらずや。

廓淸會は此弊を匡はんが爲め風紀廓淸の大旆を樹立し、男女貞潔の理想に邁住し、過去五星霜些か社會に貢献する事を得たり。然るに今や新に予に最も緣故深き横濱市に、有志諸君の努力によつて廓淸會支部の組織成る欣懷特に禁ずる能はざるものなくんば非ず。即ち滿腔の熱誠を以て祝意を表す。

冀くは先覺者たる我横濱支部の男女諸君、同心協力一市を醇化し一縣を德化し、我徒の主張を徹底して以て人世の祉福と國運の隆昌を期せられん事を。蕪辭を列ねて祝詞に代ふ。

大正五年一月十七日

廓淸會長　島田三郎

廓淸大演說會

二月十二日午後六時　神田青年會館

辯士

文學博士	福來友吉氏
文學博士	吉田熊次氏
女醫學校長	吉岡彌生氏
貴族院議員	江原素六氏
早大敎授	内ケ崎作三郎氏

但辯士中交渉未了の向あるを以て多少變更せん

右終つて井上初美子女史の獨唱ありて滿場讃歎の裡に演說に入り、第一席横濱貿易新報社長三宅磐氏は『社會上より觀たる男女關係』と題し、宗敎家敎育家等の立場をはなれ、新聞記者として廣く一般社會上より明快に貞潔の必要を高調し、第二席油谷治郎七氏は『歐米の賣淫制度』と其廓淸運動と題し世界各國の現狀より其廓淸運動の婦人の手によりて盛んに行はれつゝあるを語り、廓淸會も亦より多く婦人の活動自覺に俟たざるべからずと論じ、第三席山室軍平氏は『公娼廢止及其善後策』と題し、例の熱辯を以て聽衆を魅し、終りに個人々々の廓淸を促して入會を勸誘し、井上初美子、近藤美都子兩女史の合唱あつて非常の喝采を拍し、最後に安部磯雄氏の例の下水論を以て簡潔に論結し、破るゝが如き喝采聲裡に閉會した。時に十時半、來會者一千名、當夜即時入會者百三名。

□麻布青年會演說會

本誌を機關雜誌とし最も眞面目に社會の廓淸を標榜して立てる麻布青年會にては、本年に於ける活動の火蓋を去る十日麻布小學校に於て開いた矢島矯風會長島田廓淸會長向麻布青年會長等極めて有益なる講演があつた。來會者約三百名

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

此熱烈なる少女の叫びを聞け

左は今年漸く明けて十八の一少女の手紙であつて執烈なる同情と健氣なる覺悟とは眞に憎夫も亦起つ可きものがある。其文章と云ひ思想と云ひ三歎に値し、吾人は密に廓清の前途も多幸なるを思ふた。願くば神の御祝福愈裕に日本のベトラー女史となつて社會と人道の爲めに貢献せられたい。左は原文のまゝで、一字一句も記者の筆を入れたものではない。錄して以てお互に少女の前に辱ぢ、其鞭韃を受たいと思ふ。(江南)

宮城縣 色川榮子

記者先生—

人道のため正義のため、斯く迄も、世の迫害をさへ恐れ給はず御奮鬪遊ばさるゝ御熱誠、實に小さき妾如きものさへ、其感謝の涙の押へ難く、偏に其御成功を奉祈るもので御座います。妾は今年明けて十八歳の少女で御座います。妾の父が廓清會員ですから、何時も、血湧き肉をどるが如き熱血紅涙の御講話を拜見いたして居ります。御會發行の日を今や遲しと待ち構へて、何時も、父に先ちて拜讀致します。頁を繰る毎に我知らず

「オー、父上よ、天の父よ、彼等無告の同胞姉妹を救ひ給へ。願はくば、御奮鬪遊ばさるゝ諸先生方の上に主は大なる力を下し、成し遂げしめ給はん事を—。主は諸先生方の其の任狭博愛の表情をみそなはし給へ」

と祈る者で御座います。妾の少さき胸の鼓動は高まり、全身の血潮は一時にもゆるが如く感じ、最早、凝乎として居る事は能ぬほどで御座います。

「オー、先生—。妾は種々なる御會發行の書物を拜見いたし、亦、特に社會廓清論を愛讀いたして居ります。そして、いよ〳〵以つて同情の念に、もやさるゝのであります。」

此の大御代に、かくも忌む可き、且悲む可き暴虐の慘事が、堂々として公然行はれ、加も世の中は、それをかへり見ないのみか、却つて彼等を賤しめ、はづかしめ女を一種の玩弄物視して居りますとは、實に道徳の頽廢も茲に至りて、極まり盡せりと申すべきや、只之悲しむの外はありません。

「人若し全世界を得るとも、若しその一つの靈魂を失はゞ何の益あらんや」

と主イエスの君はおほせられました。若し此の尊い・魂、全世界にかけがひのない魂が、糞土の如く、ふみにじられて、あたら婦人の生命を、むざ〳〵衆の中に滅されねばならぬ彼等の境遇を思ひやります時に、ひとり同情の涙にむせぶのであります。人間は神より何等かの使命を頂きて、此世に生れたものであります。一人が世に生れた事によりて、天地はどれほど産みの苦しみをしたでせう、世界の一人として生れせしめて下されてなくて、ならぬものを供給して下さるために、どれほど天地のものを我等の爲めにさせしめて下さつたでせう。我等にして天地の哺育の鴻恩に對して、何等か之に報ゆ可き使命がある筈であります。若し無いとならば、私は世に生を欲しません。そんな生き甲斐のない動物と等しく生くる必要はありません。

「世の中を瀆す丈罪を加ふると思ひます」

オー、それなのに幾萬の同胞姉妹が、今や、靈肉共に慘憺たる苦境に動物たる以上の憐れむ可き肉を吸はれ、血を吸はれ在ると在らゆる暴戻殘忍の手習にされて是非曲直の判斷すら能きぬ程までに良心を害はれ、果てました。オー、それは誰の罪でせう、彼等可憐の同胞姉妹を虐ぐる社會こそ、先づ以つて責む可き罪人ではありませんか。然り婦人を尊む可き事を知らず、徒らに己が性善の途に立ち得る事能はず、獸慾の爲めに捕ひられたる世の多くの人面獸心の紳士等こそ惡む可き罪人ではありませんか。妾は女の身にてあれど眼前此慘事の横たはるを見て默して居る事は出來ません。彼のジャンダークが、僅に十七歳の身でありながら神の靈を受けて、奮然と立ちました時、如何であつたでせう?。萎靡せる全佛蘭西國を立たしめ、而して自身自ら敵陣に入りて遂に神々しき、十字架上の人となり、幾多の犧牲となりて護國の魁となつたでは御座いませんか。若し夫れ、ジャンダークの如き勇氣を持つて、人道の戰場に出でんとする眞勇なる少女が無きかと叫び度いのです。拙き、とるに足らぬ此身にても死を決して奮鬪し祈るならば、成し得ない事はないと信じます(中略)最早正義のためには命を獻けます。世を恐れず人を恐れず奮鬪いたしたう御座います。世人は狂人と申しませう、それこそ無上の譽で御座います。世にある限り生のある限り奮鬪いたす決心で御座います。(下略)

熱血紅涙

■加藤冬作君（麹町）　廓淸一月號の御提案たる會費一ヶ年一圓に贊成いたし候、會員は冷淡と叱られ候間、別紙丸茂愛知縣警察部長の書翰御高覽に供し候。右は同紙の切拔『名古屋では藝妓排斥せず』との一文を讀み、直ちに筆を執りて丸茂氏の反省を乞ひたる返書に御座候。別紙は公表の許可を得たるものならざりし故、御尊覽に入れ候事を見合せ居りたるものに候。

一昨夜、露國太公殿下歡迎觀劇會帝劇のプログラム中の最後の女優劇は女優が藝妓に假裝し云々と有之候。即ち女優が太公殿下始め皇族御臺覽の際態々藝者の眞似して御覽に入れたもの丶樣にて其會長は澁澤男爵！　論語讀みの何とかに候はずや。

■木藤冷劍君（豐橋）　御大典紀念精神的事業として本會員が豐橋に人道の烽火を擧げたる結果は今日迄は順調に進み、大成功にて候。尤も幾分の壓迫奇怪なる警察の干涉狂暴の徒のために負傷せし事あるも、元氣一層百倍し大に社會の輿論を喚起せしめ自來東京、名古屋、岡崎、豐橋等近縣各地の新聞紙に大々的記事出で、今日まで存在及事業の何物も知らざりし者も廓淸會の名を知り、事業を聞き目下大評判となり遊廓の恐慌甚だしく、本員も市井の一貧生として何の得る所なくありし處、一躍して人道上の戰士として知られ存在を認められ、大に喜び勇躍して前進仕り居候就而本年度の事業計畫として第一に、先般御照會申し置きたる會書副會長安部先生の滋賀縣御講演の歸途是非豐橋に御立寄りの榮を賜り、大々的に廢娼演說會を公德館若くは市中第一の大劇場東雲座に於て開催致し度と存居候何卒至急御都合及、經費額の豫定御通達被下度、其演說場に於て大々的會員を募集し團結して同志を作り、以て惡魔の城壁を突破するの計畫と、松の內を終へて娼妓自由廢業案內の廣告を大々的に新聞へ廣告し、一般人權尊重の念を高からしめ、且貸座敷業者に對しては垂皆の奴隷なる娼妓の待遇の方法に就而廿ケ條の條件を具して强硬的に彼等に要求する覺悟にて、大に本會主意宣傳に努むべく、本日賀禮にて愛知新聞支局長山本岩次郎氏と會見意見を交換せし所、同氏も贊同を表せられ、大々的新聞紙を利用して彼等に廓淸を與ふと執筆を諾せられ候。而して過日の奇怪なる警吏の干涉ありたる出版條令違犯事件は、曩に檢事局へ自ら出頭問合せし處檢事の取調中の由、何れ開廷の上はドコ迄も爭ふ覺悟にて奮進罷在候。尙本年新年號の會員會費一ヶ年一圓に値上げ記事增大紙數增頁の發議は本會員としては至極大贊成に有之候。

■中里正次郎君（埼玉）　一月號最終の雜誌擴張について、吾人の常に敬愛しつゝある伊藤江南先生の所見に滿腔の誠意を以て贊同す。不肖の如きは先生と對談の節には、常の如く相語りし處にて誰か本會に席を有する會員諸君にて、壹人として不贊の向ある筈なくと信じて疑はず、愛する會友續々贊同の意を表し、一日も早く速に實行の期に達せん事を尙左表一覽に供し候。

熊谷町諸統計報告

（大正四年十一月末日調査）

戶數三千三百八十五戶、人口一萬六千百五十八人、料理店六十三軒。飲食店四十三軒。待合一軒、藝妓屋十八軒、藝妓五十八人、酌婦八十四人、雇女（ダルマ）百十八人、失火數十三件、損害二千六百二十五圓、昨年二十六件、六千三百五十六圓、比較三分一不。火六件損害三百四十四圓。放火一件損害十圓、通計二十件、二千九百七十九圓。竊盜犯二百一件、被害一千八百二十七圓四十四錢。詐欺八十六件、三千二百八十六圓二十五錢、强盜二件、十三圓。賭博六件、殺人一件、其他百二十六件、千三百七十六圓九十八錢合計四百二十二件、被害六千五百三圓六十七錢。昨年六百十四件、六千九百二十二圓二錢。比較三分一、傳染病腸チブス七〇、昨年七九、パラチブス五。昨年一二、發疹チブス昨年三十七名、本年猩紅熱昨年十八名、本年は赤痢昨年八名、本年二十名、實扶的利亞昨年二十九名、本年三十八名。

■山本きた子君（岡山）　御大典當時の當局に對しての御社の御運動は確に大に有効なりしを拜見いし喜ばしく存上候。私共其當時市役所及警察署等へ參り候處市長や署長の机上に御雜誌の置かれ在るを見、其當時の詐種の取締り一武器として使用せらるならんと愉快に感じ申候。日本は未だ如何しても官僚主義を脫し居らず（田舍は殊に深く感ぜられ候）候まゝ、貴會の如き知名の士を多く有せらるゝ會の御働きは誠に有効と存候。たとひ積極的の効果は直に得られずとも（中略）御雜誌上にて拜見いたし候へば追々御誌の頁數を增して定價引上げを斷行被遊候やの思召し相樣に候處、維持上六つ敷事は充分御察申し上候へ共、若し出來る得なれば只今の價にてなる可く多方面に讀まるゝ方御事業の上に有効なる樣考へられ候。思ひつきたるまゝを申上候。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯の後

▲何處の新年號の雜誌を見ても、新年から新たらしと勇氣と抱負を以て進んで行きたいと具體的に並べたてゝあります、今年こそは今年こそはと空賴みに終るのは殆んど月並のやうになつてゐます。

▲今年から本誌も内容の充實を計りて出來得る限りの努力を以て御目にかゝりたいと思つてゐます、どうか會員諸氏も一層の努力を願ひます、廓清も今年は一萬人の會員を増やさうと決心してゐます、果して年の暮れのアカーウントにどれだけ結果があるか分りませんが、一生懸命奮闘しやうと覺悟を定めて進軍してゐます、新年の劈頭に横濱市で大演說會を開きました、會員も約二百人出來まして、支部が生れましたるは心から感謝してゐます我等の同志の増加は戰闘力の増加となるのですから何んとなく心强さを感ぜせしめられます、どうか各支部でも盛んに演說會を開いて頂きたい。本部は出來得限り辯士の出張其他の便利を計りたいと思ふでゐます。如何に本部が力んでも一萬人の會員は本部丈けでは迚も六つかしいです、どうか會員諸君が自分の事業であると思ふて「人一人」「一人倍増」を標榜して我等の同志を奮いて紹介して下さい。如何に美しき純潔の想想でも會員の數が少いと勢ひ戰ひも失敗に終る憂があるから。

▲廓清は會員組織です。會員の中に普通の雜誌の讀者のやうに誤解してゐなさる御方があります。どうか本會は會員が相互に協力、聯絡して、世の汚物と不純物を深め魔軍と戰ひ、當面の問題としては公娼廢止蓄妾排斥も絶叫したいのです、本會も局面展開をせればならぬ時機に逢着してゐます。今少し突貫的に實戰の烟をもやしたいと思ふてゐます。どうか會員と云ふ觀念と自己の責任をもつと痛切に感じて下さるやうに御願いたします。

▲本會の財政はなかなか困難です。愚痴ではありませんが正會員六十錢では維持の上に困難です。けちな事を云ふやうですがハガキを二本も出して會費の催足狀を出し集金郵便の手數料を出すやうでは實費を超過いたします。十二月は集金郵便拒絶が百五十枚ありました。中には二三度も六十錢の會費を集金郵便を出してもまだ拒絶なさる御方があります。御都合で事情止むない時もありましやうが斯くては全く五錢の會員では收支償ふ事が出來ません、今日の處は全く贊助員諸君へ助力によつて其收支を調節してゐる狀態ですから、其お積りで餘り手數がかゝらぬやう各自に御注意なすつて頂き度い。前金切れの御方は督促を待たずして御送をお願いたします、要するに會費は本會事業の財源ですから支拂拒絶の場合には必ず其理由を明書して下さるやう願ひます整理上困りますから。

▲會員諸君が毎月目新たらしい顏ぶれを熱血紅涙欄で御目にかゝり相互に激勵親睦したらどんなに仕合せでしやう廓清獨得の文章を以て熱血紅涙欄を賑かして下さい但し成る可く短文で。

▲毎號廓清發送は伊藤主事の一家族を煩はらします一月號は正月元旦に皆さんの宅に廓清を年始に御伺はすため同人は餘程骨折りました。主事の宅の家族一同姉妹方は十二月卅日の夜は發送のため徹夜されました。芝局に發送したのは朝の五時でした。隨分苦しかつたがそれでも何千人の會員の御宅へ廓清が御目出とうと云ふて御伺するのだと思ふと一層心强く思ふて疲れも何も覺へませんでした。

▲神戸支部員として常に本會の爲め努力せられつゝある城のぶ子樣は、御大典記念事業として神戸婦人同情會を設立されました。婦人の風敎問題や生活問題乃至精神上の煩悶等の實際問題を取扱つて社會の欠陷を補ひ、不幸な運命に囚はれんとする婦人の味方となつて働かられるさうです、女史は多年靜岡でホームのため盡瘁する處あり五年前から神戸養老院守島女史と共に賴るべなき老人の爲に盡されてゐます。今又茲に同情會なるものが生れた事は、たゞに神戸の爲のみでなく我等同胞のために祝します。どうか日本の婦人諸姉が斯樣にしてもつと社會的に生きられるやうに切望します。

▲私の常に思ふ事は會員諸氏と本部はもつと親しみたい事で、新年早々數十名から奬勵や御祝に懇篤なる寄稿を頂きました。深く御禮を申上げます、「消息欄」を設けて會員相互の意志の疎通を計り各自の煩悶は「身上相談部」を設けて共に悅び、共に苦しみたいと思ふてゐます。何れ次號には具體的に誌上發表しましよふう（編輯小僧）

大正五年二月一日納本
大正五年二月一日發行
（毎月一回一日發行）一部定價金六錢

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉

印刷人　神田區三崎町三丁目一番地　上村龍之助

印刷所　神田區三崎町三丁目一番地　博信堂印刷所

發行所　芝區三田四國町二番地廓清會　廓清發行所
電話芝五八五五番
振替東京二七〇七二番